

# 美濃加茂市第6次総合計画後期基本計画 データ集

令和7年4月

このデータ集では、美濃加茂市第6次総合計画後期基本計画の策定にあたって、各政策分野における【解決を図る現在の状況】について、統計データ等をもとに説明しています。

## 目次

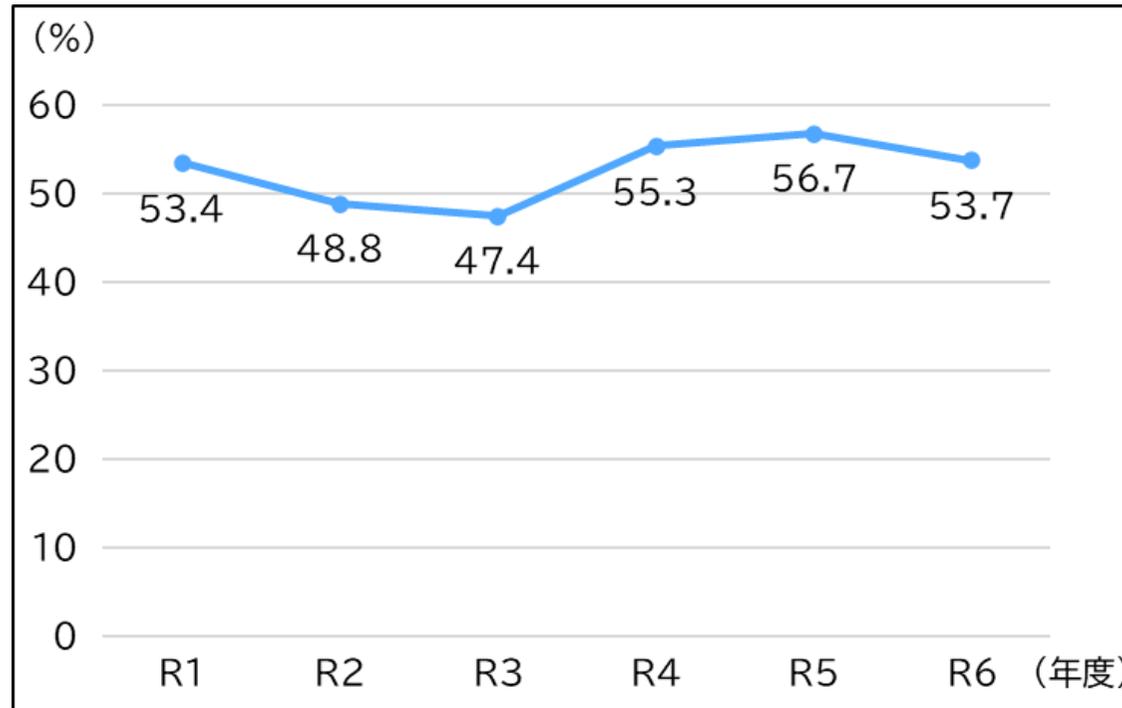
政策 1 健康増進 .....	1
政策 2 子育て支援 .....	7
政策 3 女性若者活躍 .....	12
政策 4 多文化共生 .....	14
政策 5 地域再生 .....	16
政策 6 生涯学習・文化・スポーツ .....	18
政策 7 学校教育 .....	25
政策 8 市民福祉 .....	31
政策 9 産業振興 .....	37
政策 10 環境 .....	42
政策 11 防災減災 .....	46
政策 12 都市基盤 .....	50

政策 1 健康増進

解決を図る現在の状況

健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合は、令和6年度では53.7%となっています。

健康増進に取り組んでいる人の割合



出典:美濃加茂市「市民満足度調査」

政策 1 健康増進

解決を図る現在の状況

自分の健康に関心がある人の割合は令和4年度では20代が42.3%、30代が56.2%、40代が46.4%となっており、若年層と現役世代は、健康づくり活動や予防への意識が不十分です。

健康への関心度【年齢・健康状態別】 (%)

		全 体	関 心 が あ る	あ 少 る し 関 心 が	が あ ま り 関 心	関 心 が な い	無 回 答
年 齢 別	20代	52	22	21	6	3	0
		100.0	42.3	40.4	11.5	5.8	0.0
	30代	89	50	28	7	4	0
		100.0	56.2	31.5	7.9	4.5	0.0
	40代	112	52	52	7	1	0
		100.0	46.4	46.4	6.3	0.9	0.0
	50代	132	82	44	5	1	0
	100.0	62.1	33.3	3.8	0.8	0.0	
60代		138	89	44	5	0	0
		100.0	64.5	31.9	3.6	0.0	0.0
70代以上		173	129	34	7	2	1
		100.0	74.6	19.7	4.0	1.2	0.6
健 康 状 態 別	非常に健康である	95	63	25	5	2	0
		100.0	66.3	26.3	5.3	2.1	0.0
	まあまあ健康である	497	304	162	25	5	1
		100.0	61.2	32.6	5.0	1.0	0.2
	あまり健康でない	89	48	33	6	2	0
	100.0	53.9	37.1	6.7	2.2	0.0	
健康でない		15	9	3	1	2	0
		100.0	60.0	20.0	6.7	13.3	0.0

出典:美濃加茂市「健康についてのアンケート調査(R5)」

政策 1 健康増進

解決を図る現在の状況

三大死因の標準化死亡比(平成29年～令和3年)は、男女ともに、悪性新生物(がん)では男性が92.2、女性が88.9、心疾患では男性が88.2、女性が84.3と、いずれも国・県を下回っています。一方、脳血管疾患では男性が103.3、女性が118.4と、国・県を上回っています。

標準化死亡比(H29～R3年)

	男性		女性	
	岐阜県	美濃加茂市	岐阜県	美濃加茂市
悪性新生物	96.8	92.2	100.7	88.9
心疾患	98.3	88.2	102.4	84.3
脳血管疾患	96.0	103.3	107.6	118.4

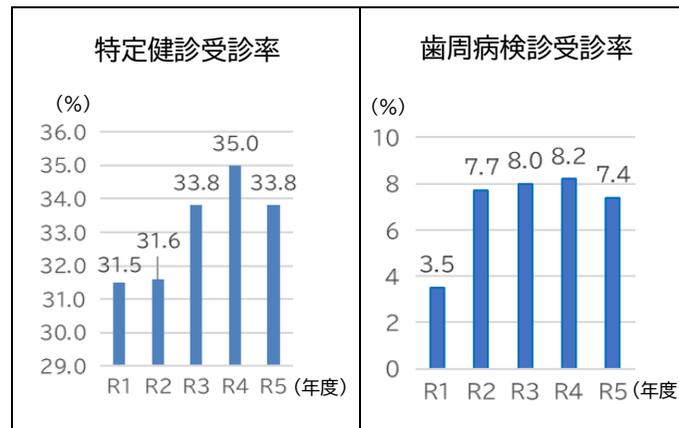
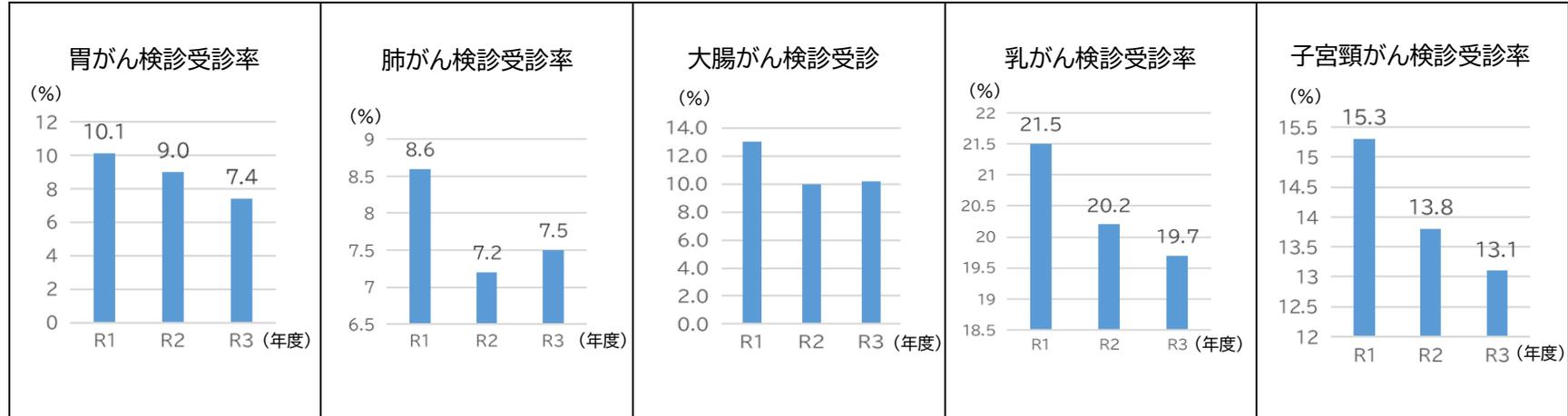
※標準化死亡比:人口構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。全国を100とし、100以上の場合は死亡率が高く、100以下の場合は死亡率が低いといえます。

出典:岐阜県の生活習慣病白書2023(統計編)

政策 1 健康増進

解決を図る現在の状況

がん検診、特定健診、歯科健診の受診率が低迷しており、生活習慣病予防が十分に浸透していない状態です。



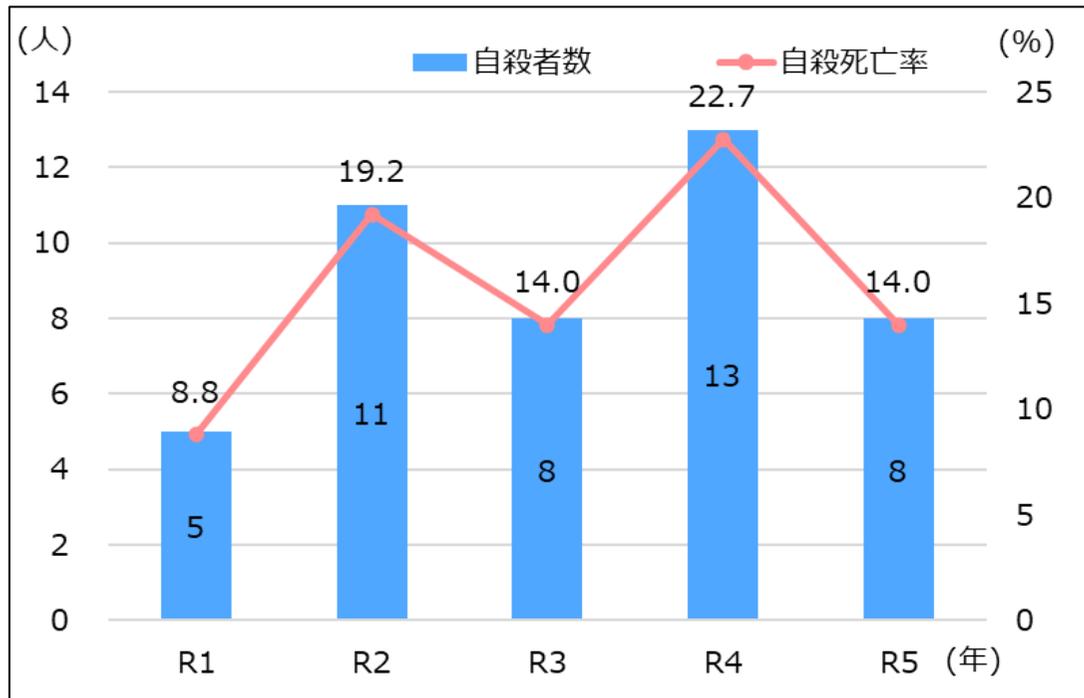
出典:岐阜県「地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表」、岐阜県「医療費・疾病・特定健診の状況」(下段左)、美濃加茂市(下段右)

政策 1 健康増進

解決を図る現在の状況

自殺者数、自殺死亡率は平成29年に減少した後、横ばいで推移していましたが、令和4年には増加し、全国の上昇傾向に追随しています。

自殺死亡者数と自殺死亡率の推移



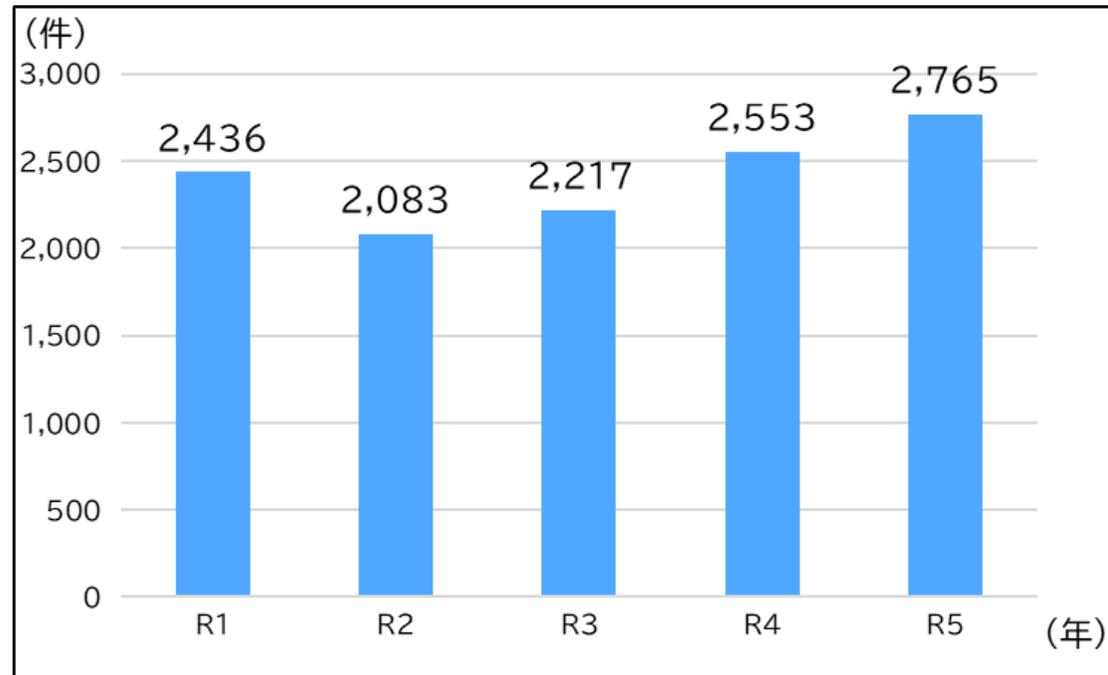
出典:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

政策 1 健康増進

解決を図る現在の状況

救急件数は令和元年には2,436件であったが、令和5年は2,765件となっており、救急医療需要の増加に伴い、医療人材不足と救急医療のひっ迫が深刻化することが懸念されます。

可茂消防管内の救急件数



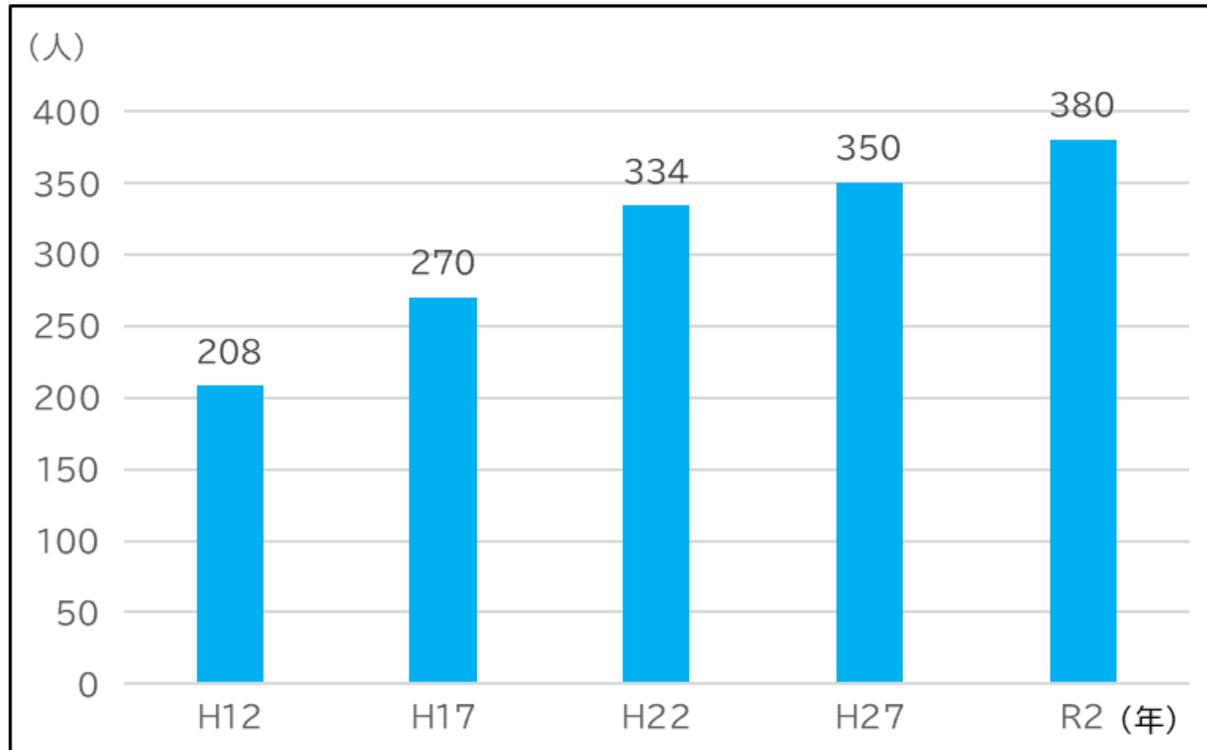
出典：可茂消防事務組合「可茂消防管轄内過去の救急件数表」

政策 2 子育て支援

解決を図る現在の状況

令和2年のひとり親世帯は、380世帯と増加傾向にあり、自助、共助のみではサポートが十分でない世帯が増加しています。

ひとり親世帯の推移



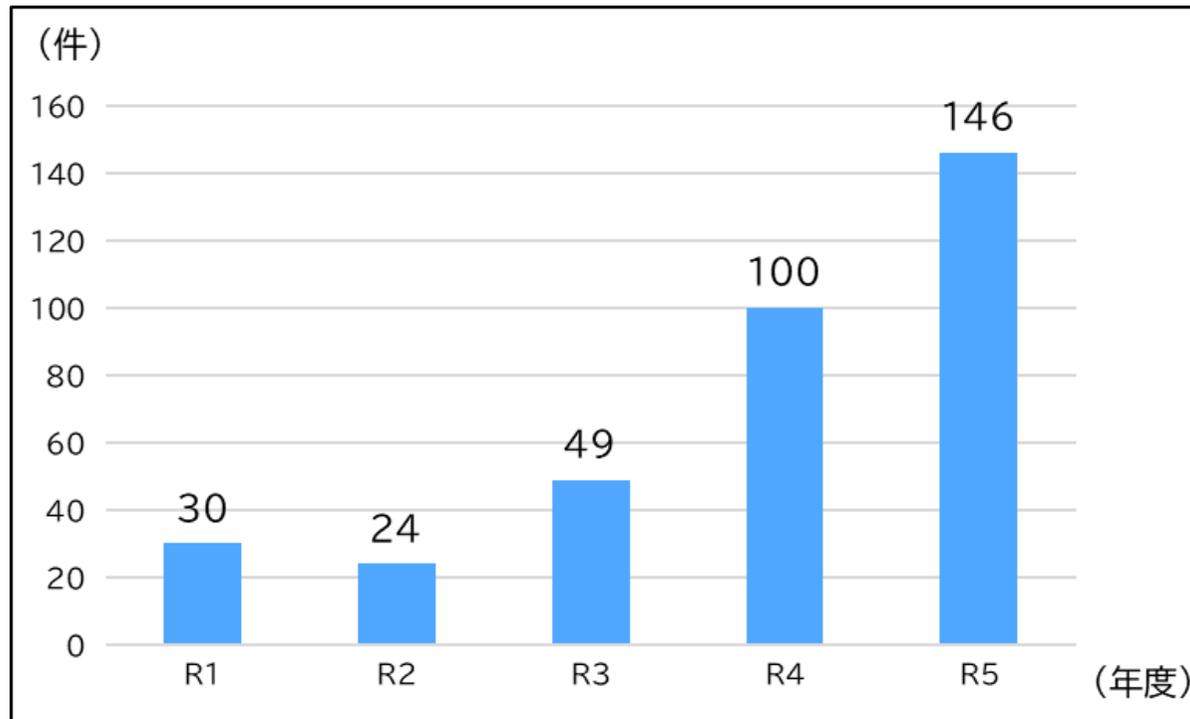
出典：総務省「国勢調査」

政策 2 子育て支援

解決を図る現在の状況

児童虐待、ヤングケアラー、外国人世帯の支援など、課題は多岐にわたり、家庭児童相談(新規相談)対応件数は令和元年度には30件でしたが、令和5年度には146件となっており、家庭での子育て力向上やメンタルケアを必要とする保護者が増加しています。

家庭児童相談新規相談対応件数の推移



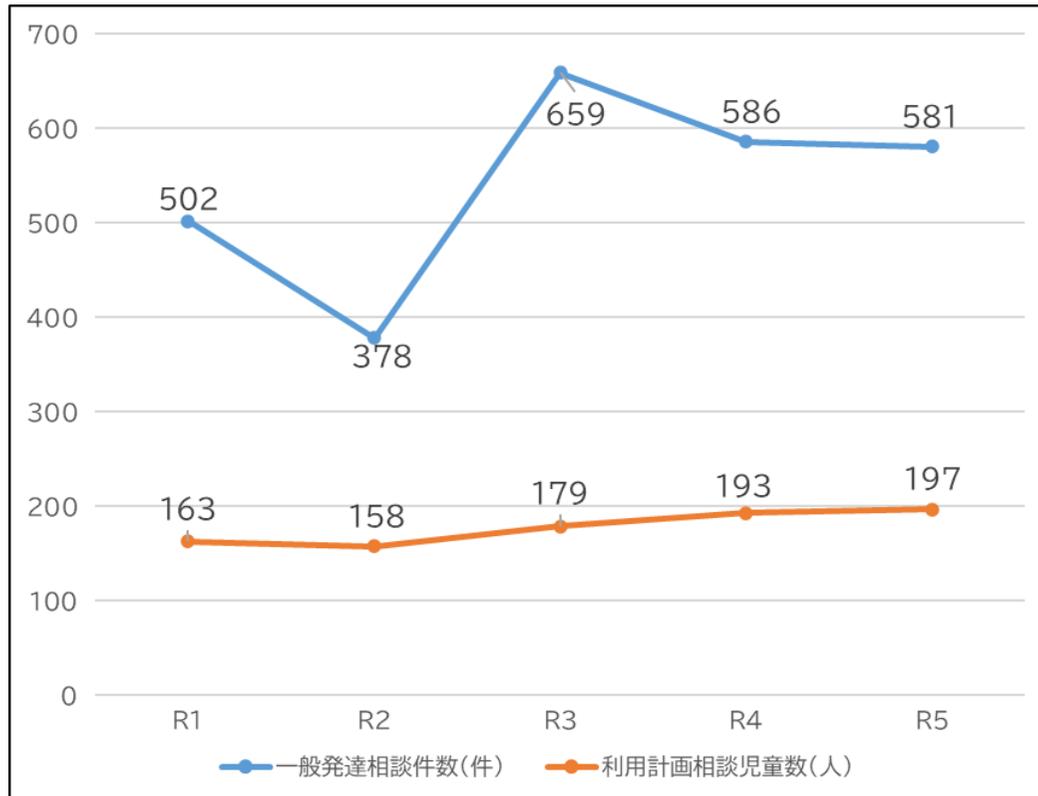
出典:美濃加茂市

政策 2 子育て支援

解決を図る現在の状況

一般発達相談件数は令和元年度の502件に対し令和5年度は581件、児童発達支援や放課後等デイサービスの利用計画相談児童数は令和元年度の163人から令和5年度は197人となっており、発達支援の必要なこどもが増加し、相談などの即時対応が難しくなっています。

一般発達相談件数および利用計画相談児童



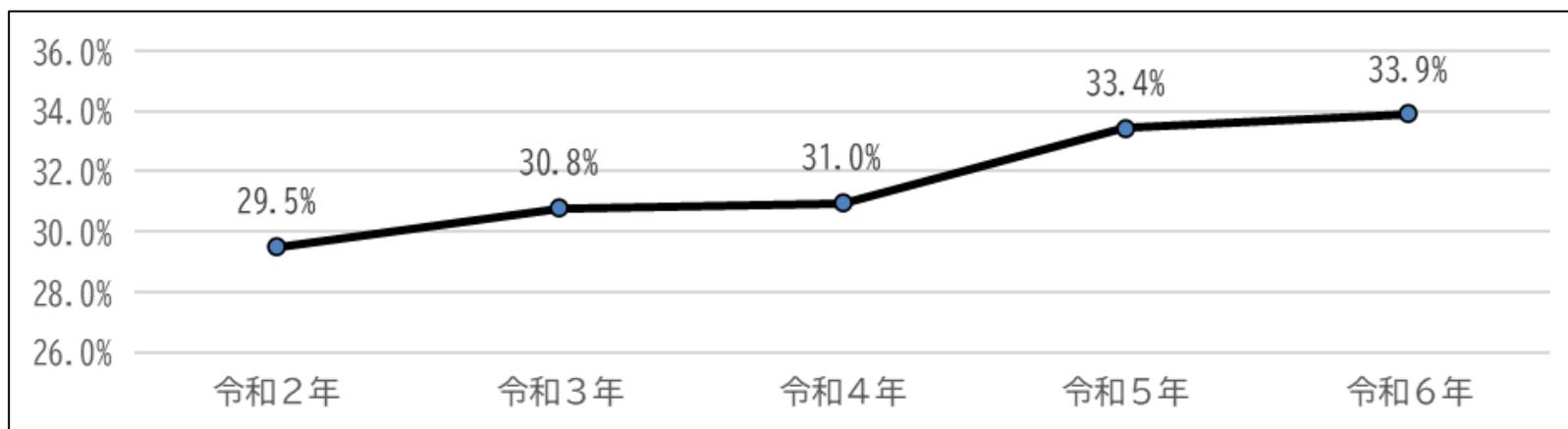
出典:美濃加茂市

政策 2 子育て支援

解決を図る現在の状況

3歳未満の低年齢児保育の需要は拡大しており、0～2歳人口に占める3号認定(満3歳未満で保育の必要な事由に該当)の割合は、令和2年の29.5%から令和6年には33.9%に上昇し、保育士の人員確保や資質向上の機会が求められています。

0～2歳人口に占める3号認定の割合の推移



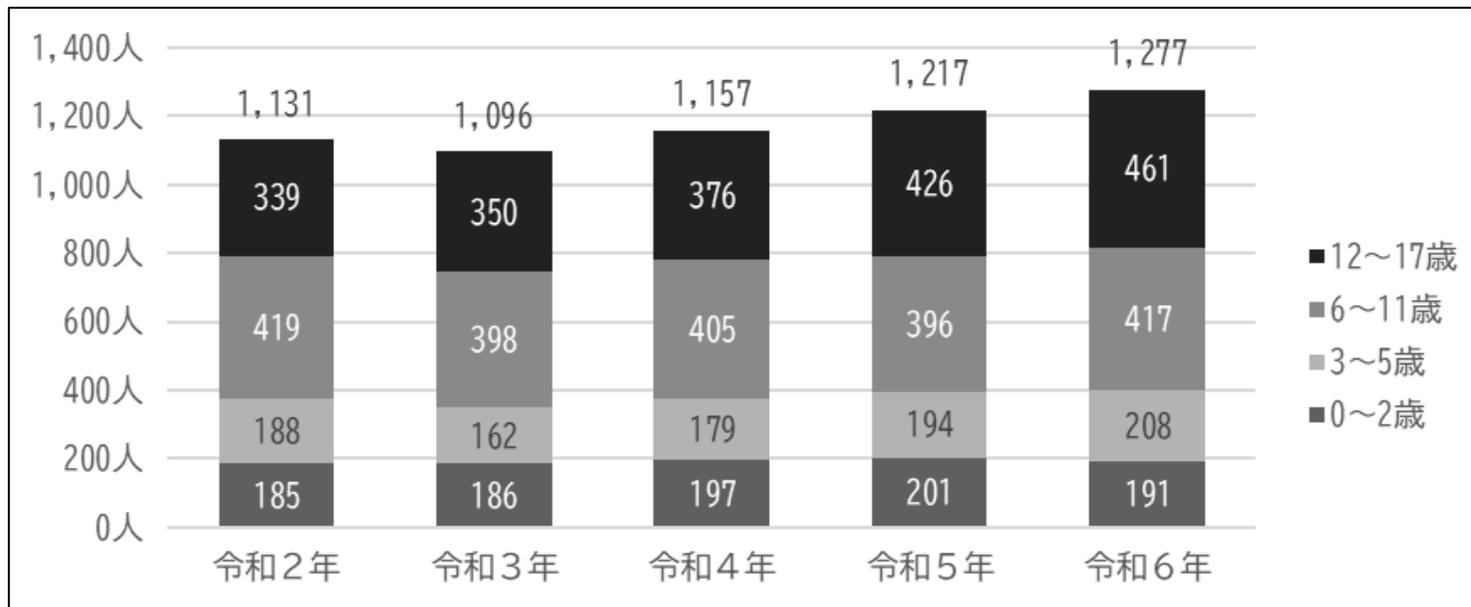
出典:美濃加茂市

政策 2 子育て支援

解決を図る現在の状況

18歳未満の外国人児童人口は、令和6年4月1日現在で1,277人となっており、日本語、日本の生活習慣、学校生活のルールなどについての理解が進まず、就学時に勉強や学校生活に困り感をもつ外国人児童が増加傾向にあります。

年齢区分別外国人児童人口の推移



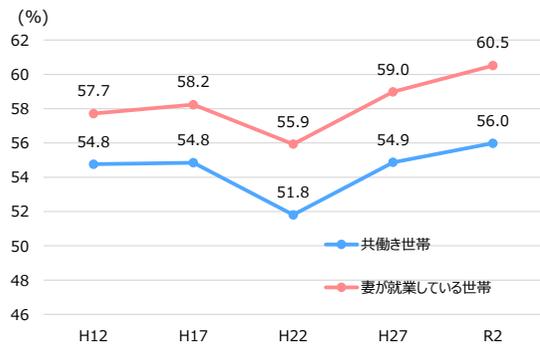
出典:美濃加茂市「住民基本台帳」

政策 3 女性若者活躍

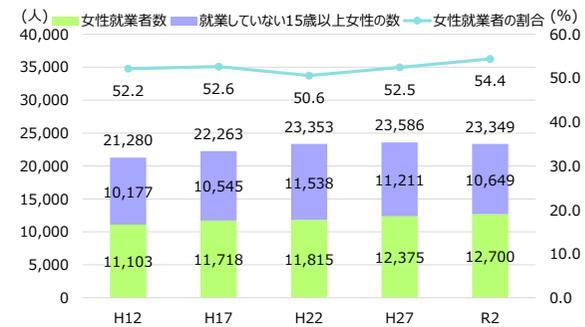
解決を図る現在の状況

令和 2 年の共働き世帯の割合は 60.5%と増加傾向にあり(図1)、令和 2 年の女性の就業率は 54.4%と一定の水準を保っていますが(図2)、30 代にかけて落ち込み、その後再び上昇する M 字カーブ(図3)となっています。年齢や家庭状況により女性の就業率には差があり、仕事と家庭生活の両立における支援体制へのニーズが高くなっています。

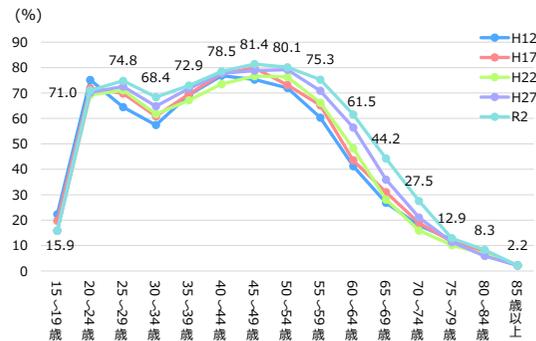
共働き世帯の割合の推移(図1)



女性就業者の割合の推移(図2)



年齢階級別女性就業者割合の推移(図3)



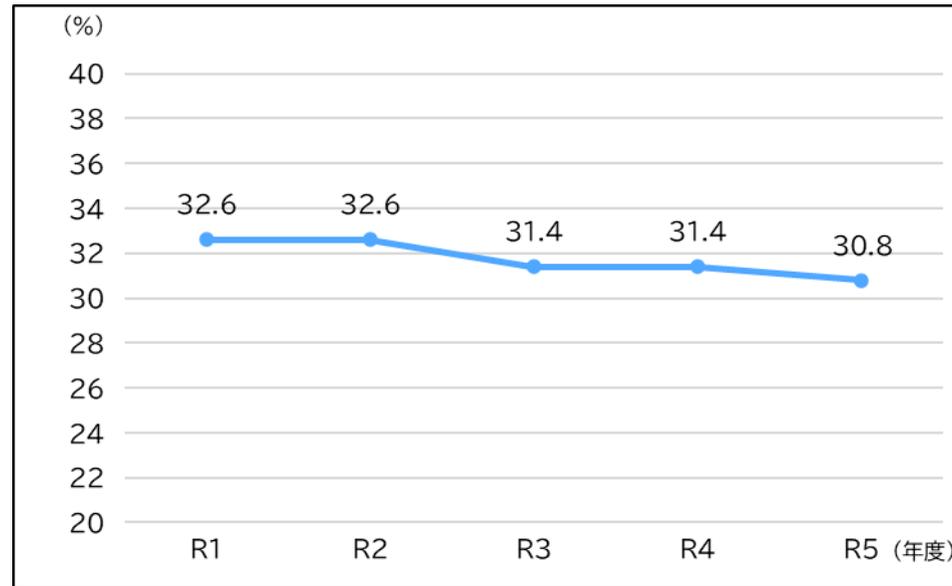
出典:総務省「国勢調査」

政策 3 女性若者活躍

解決を図る現在の状況

政策決定の場における女性の参画が足りておらず、審議会委員に占める女性の割合は30.8%と低い水準に留まっています。

審議会委員に占める女性の割合の推移



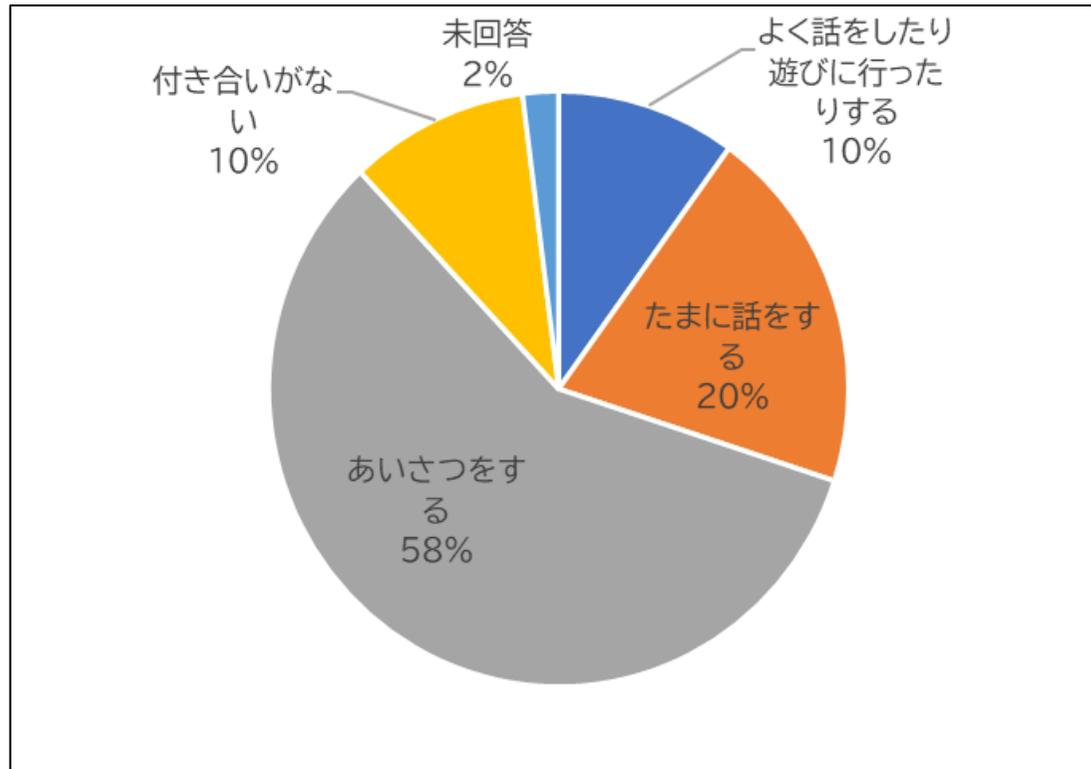
出典:内閣府ホームページ「市町村女性参画状況見える化マップ」

政策 4 多文化共生

解決を図る現在の状況

外国人市民アンケート(令和6年度)では近隣の日本人との付き合いについて、58%が「あいさつをする」程度に留まっており、外国人市民の地域活動への参加促進や、日本人市民との相互理解を深める機会が不足しています。

外国人市民の近隣の日本人との付き合い



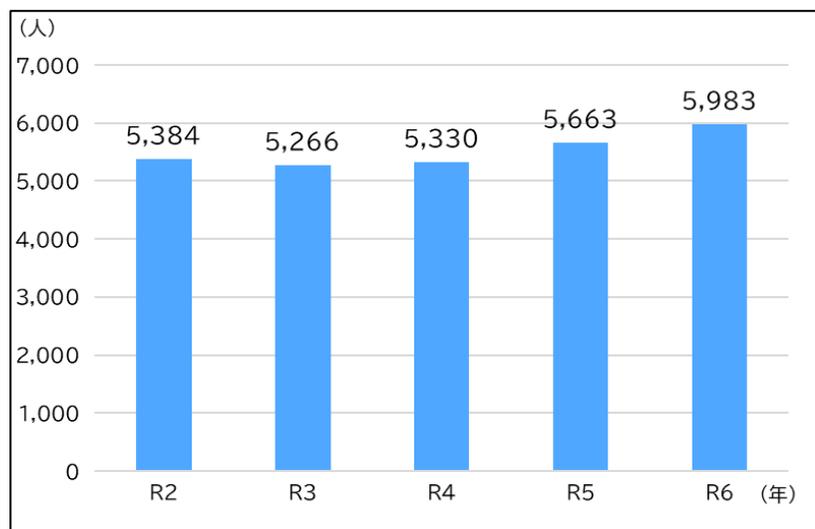
出典:美濃加茂市「R6 年度外国人市民対象アンケート」

政策 4 多文化共生

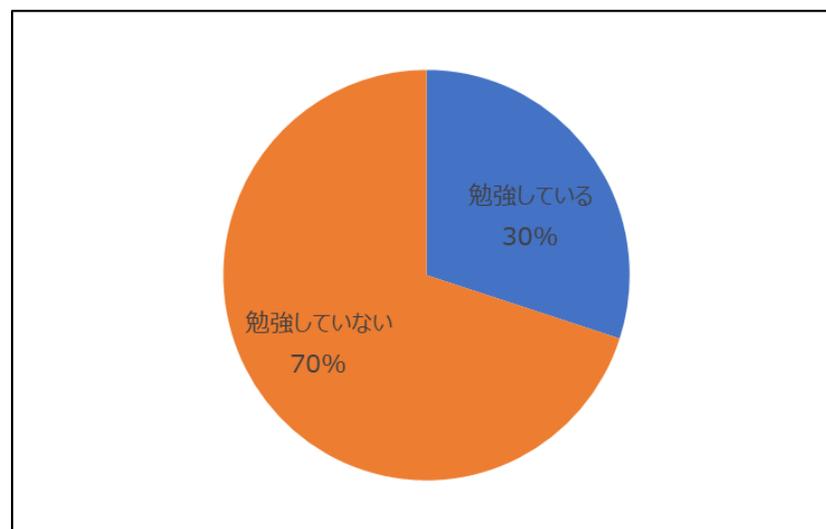
解決を図る現在の状況

外国人人口は増加傾向にあり、令和6年4月1日現在で5,983人となっています。外国人市民の増加に伴い、多国籍化が進み、災害時の対応など言語の壁は依然として生じています。外国人市民アンケート(令和6年度)によると、70%が「日本語を勉強していない」と回答し、その主な理由として「通しやすい教室がない」ことも挙げられており、日本語学習の機会に対するニーズが高まっています。

外国人市民の推移



日本語を勉強している外国人市民の割合



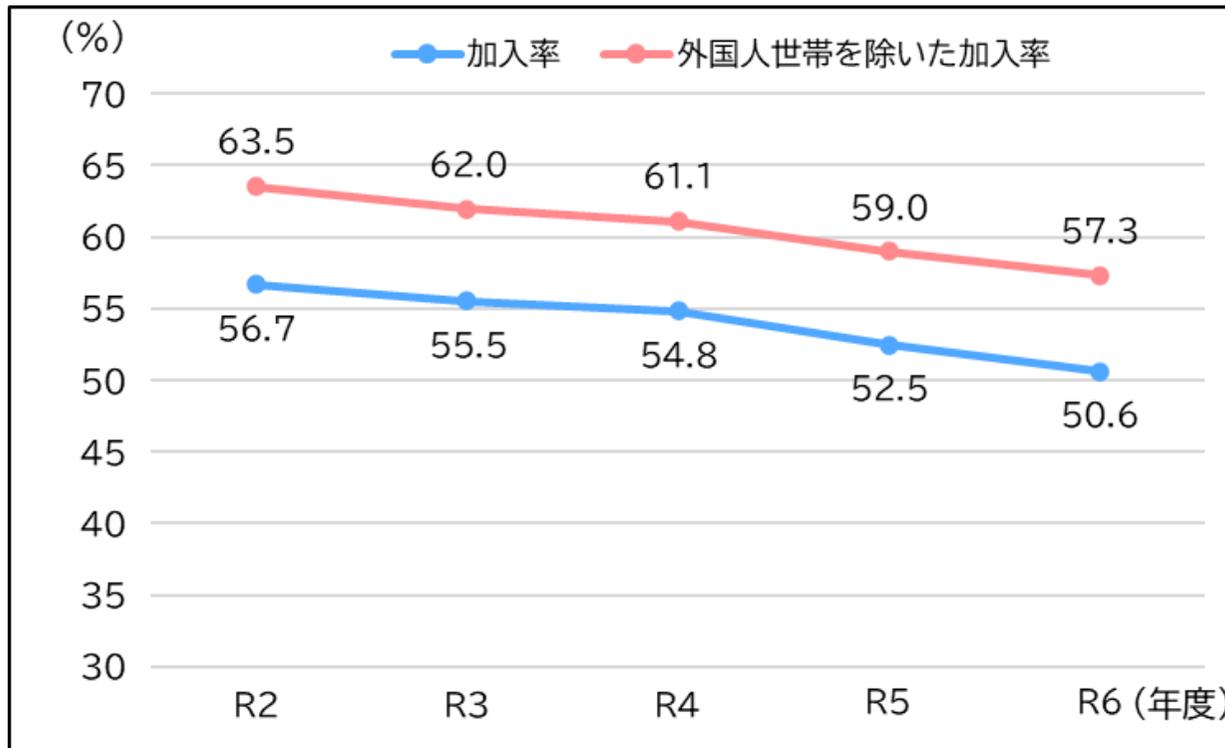
出典:美濃加茂市「外国人住民国籍別集計」(左)、美濃加茂市「R6外国人市民対象アンケート」(右)

政策 5 地域再生

解決を図る現在の状況

令和2年度に56.7%だった自治会加入率は令和6年度には50.6%と減少しており、住民自治の重要性を認識する市民が減少しています。また、特に若年層や転入者等の自治会未加入者が増加しています。

自治会加入率の推移



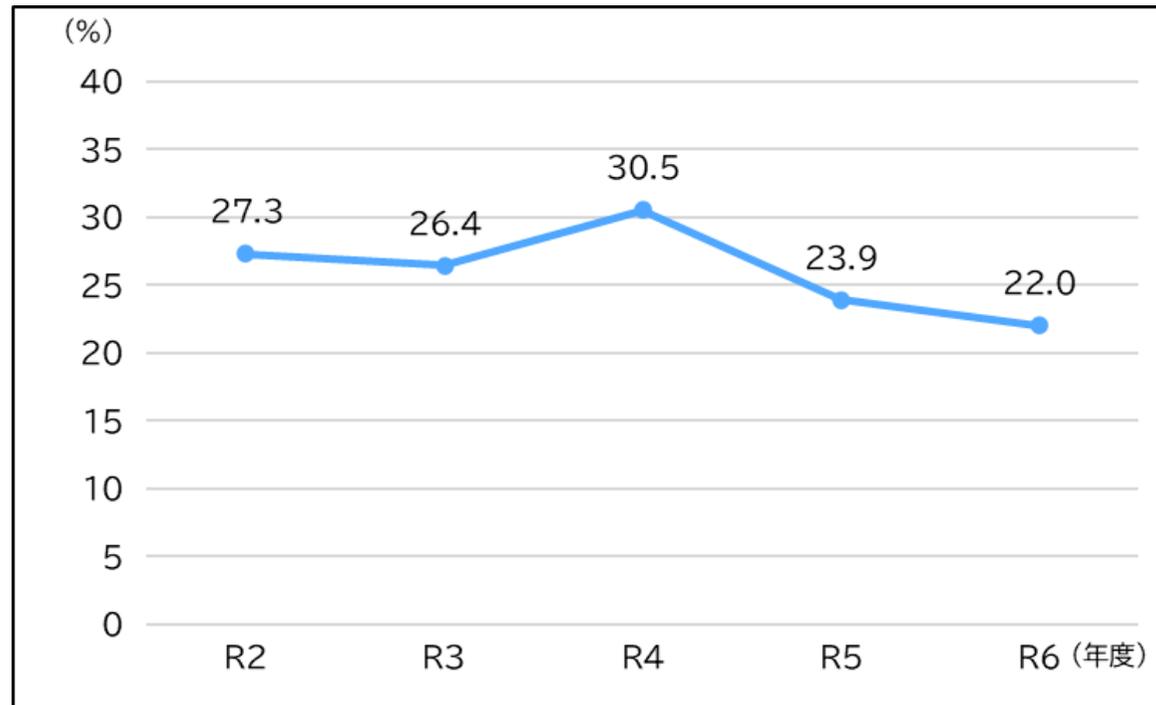
出典:美濃加茂市

政策 5 地域再生

解決を図る現在の状況

あい愛バスの利便性の満足度(令和6年度)について、乗り継ぎの際の待ち時間は13.2%、乗り継ぎに関する情報案内は14.0%、利用のしやすさは22.0%と、利便性の満足度が十分ではありません。

あい愛バスの利用のしやすさの満足度

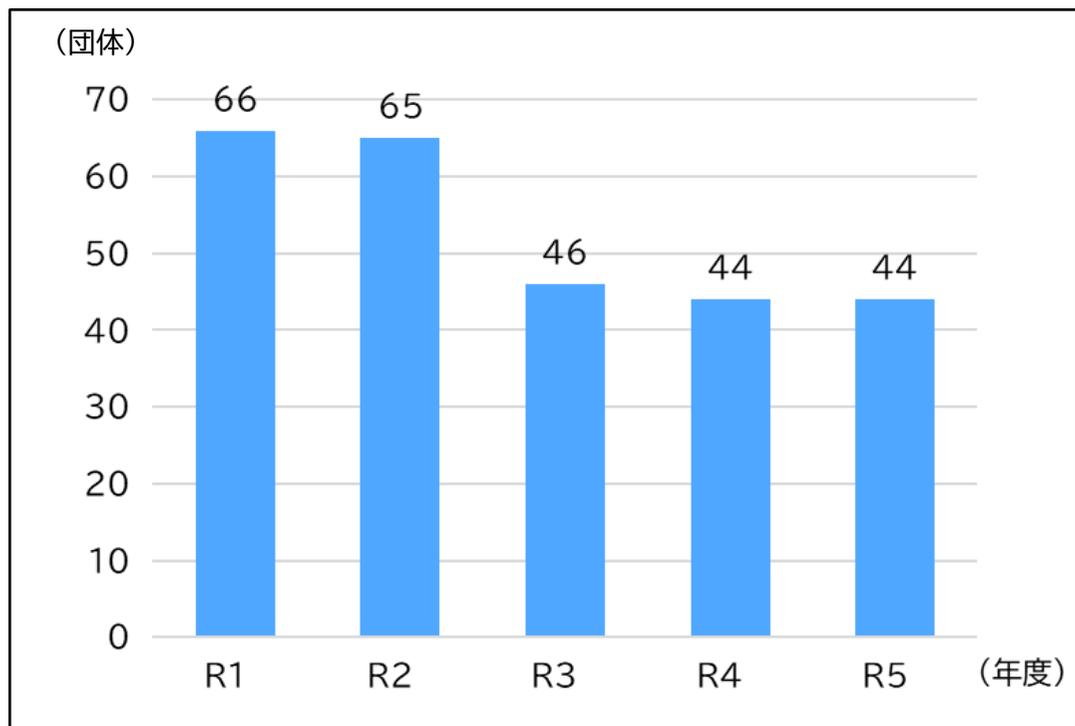


出典:美濃加茂市「市民満足度調査」

解決を図る現在の状況

生涯学習センターで活動するサークル数は令和元年度に 66 団体でしたが、令和 5 年度は 44 団体となっており、自主的に活動を行うサークル数、人数は減少傾向にあります。

生涯学習センター自主活動団体数

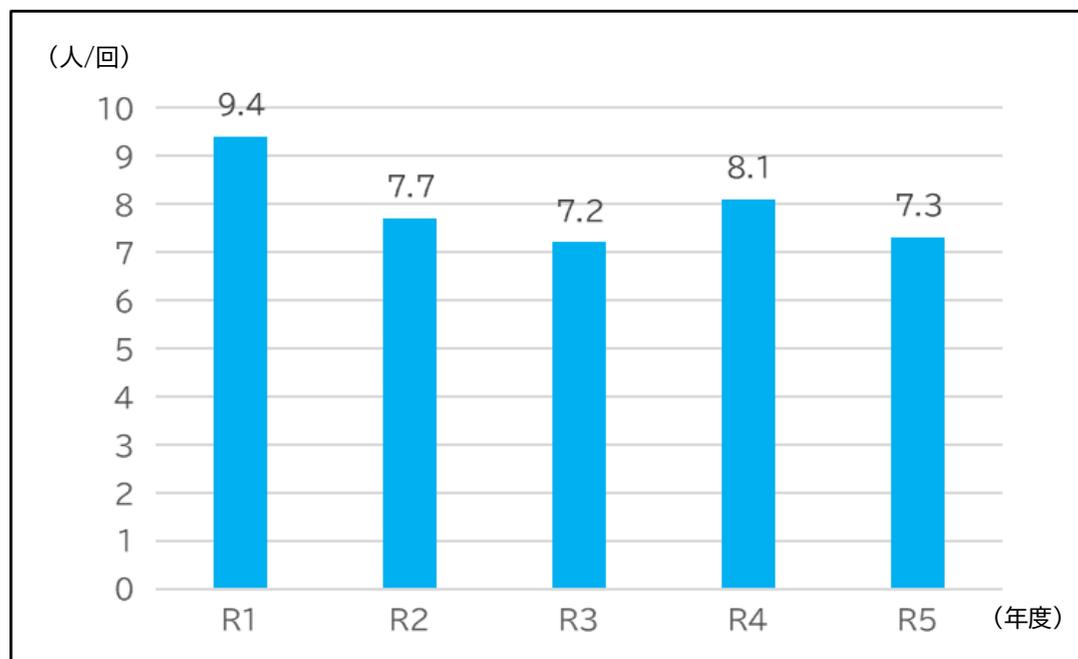


出典:美濃加茂市「統計書」

解決を図る現在の状況

読み聞かせの参加者数は令和元年度には9.4人(1回あたり)でしたが、令和5年度には7.3人と減少しており、読み聞かせに参加することの数が減少するなど、本に触れる機会が少なくなっています。

読み聞かせ1回あたりの参加者数の推移



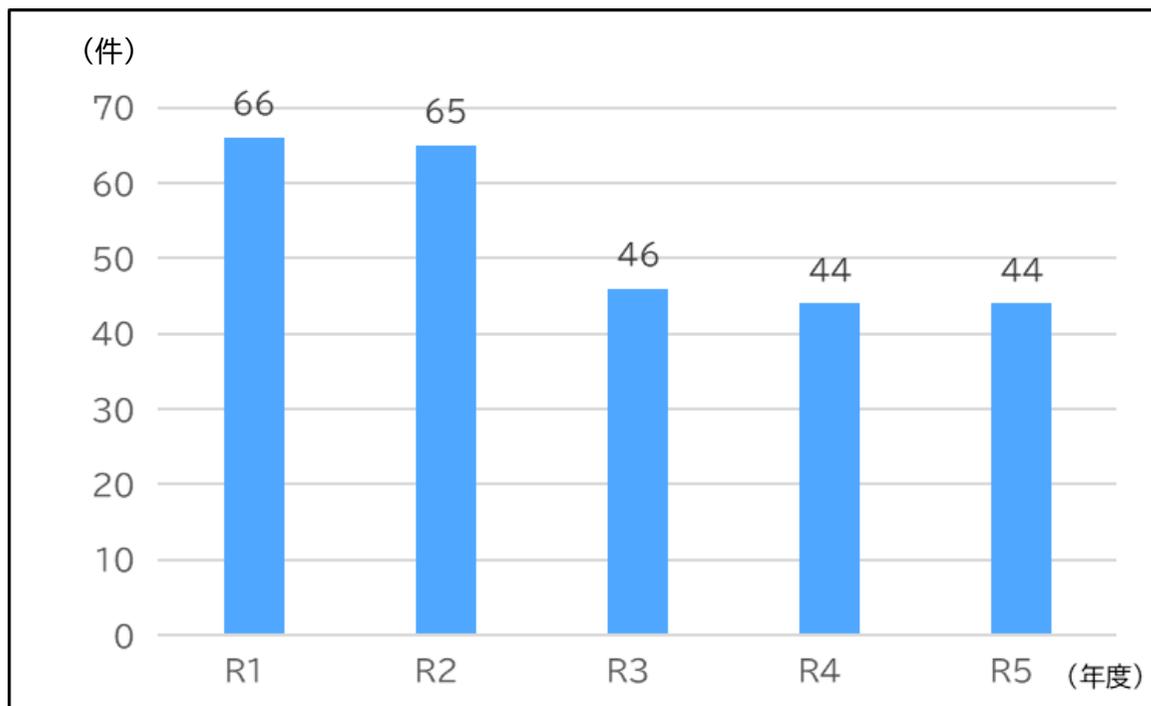
出典:美濃加茂市

政策 6 生涯学習・文化・スポーツ

解決を図る現在の状況

みのかも文化の森(博物館)の地域資源収集やデータベース整備状況に対し、市民の利活用は令和 5 年度は 8 件となっており、一定の水準に留まっています。

地域資源等の市民利活用数



出典:美濃加茂市「みのかも文化の森年報」

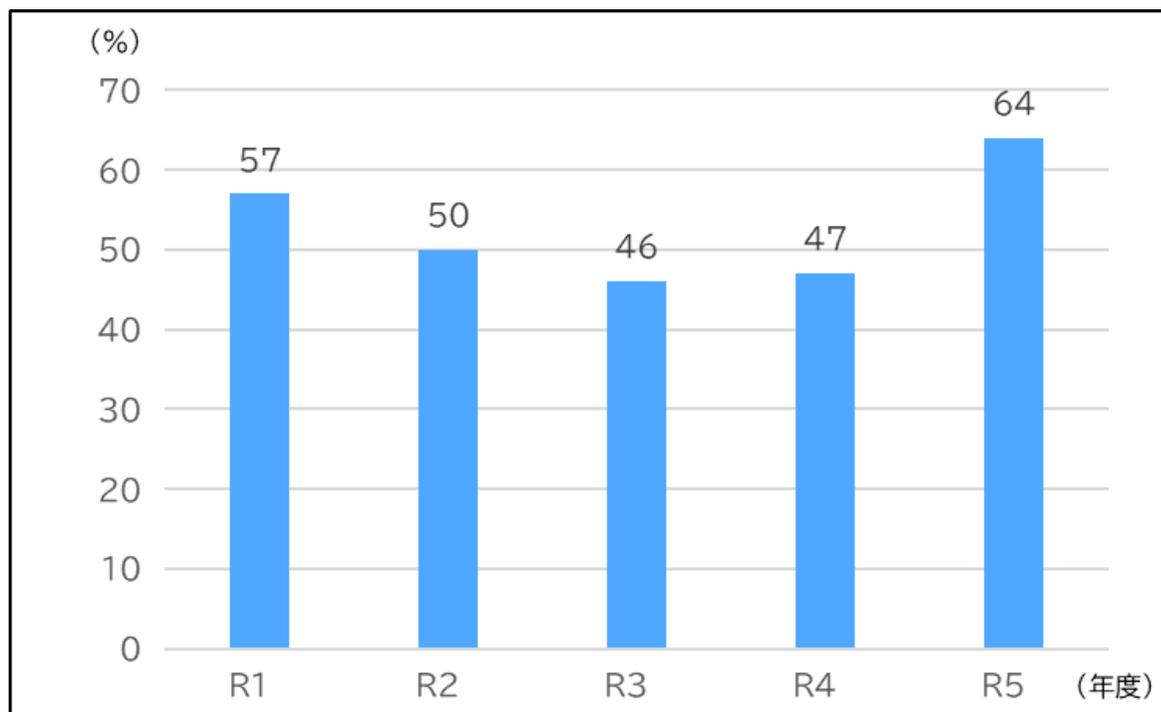
解決を図る現在の状況	文化振興活動を行う団体の減少により、地域の伝統的な暮らしや文化、人々が古くから大切にし地域に根付いてきた有形無形の文化資源が、次の世代に継承されなくなる恐れがあります。				
(年度)  文化財保護管理事業における 文化振興活動団体補助金交付 要綱に基づく補助団体  ①山之上の獅子芝居保存会 ②米田の祭ばやし保存会 ③鷹之巣の子ども獅子芝居保存会 ④ゲンジボタル保護事業	R元	R2	R3	R4	R5
	①	①			
	②	②	②		
	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④

出典：美濃加茂市「みのかも文化の森年報」

解決を図る現在の状況

中高生などがみのかも文化の森(博物館)を利用する機会が少ない状況です。

小学校卒業後の利用割合



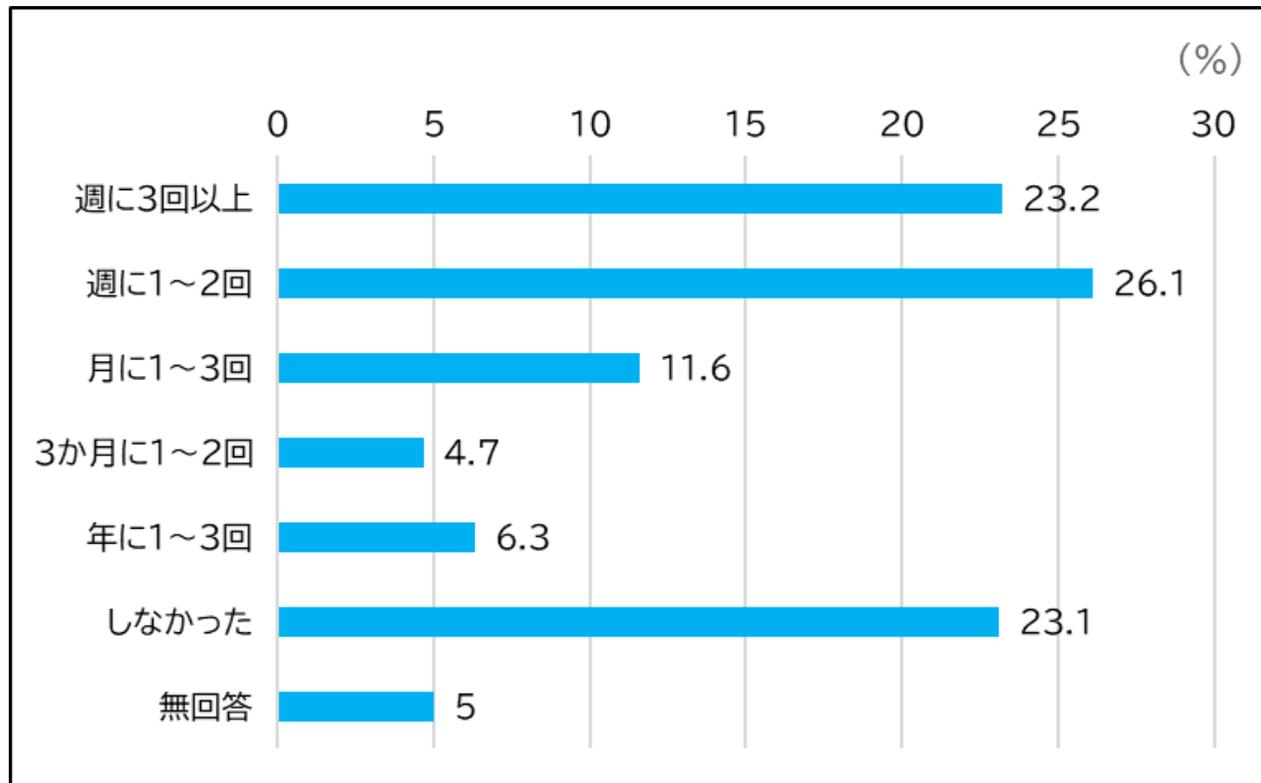
出典:美濃加茂市「みのかも文化の森活用の手引き・活用実践集」

政策 6 生涯学習・文化・スポーツ

解決を図る現在の状況

週に1回以上運動している人は令和5年度で全体の49.3%となっており、令和5年度の国平均(52%)と比べて低く、健康維持のために、暮らしのなかで定期的に運動している市民は少ない状況です。

1年間にスポーツや運動した人の割合



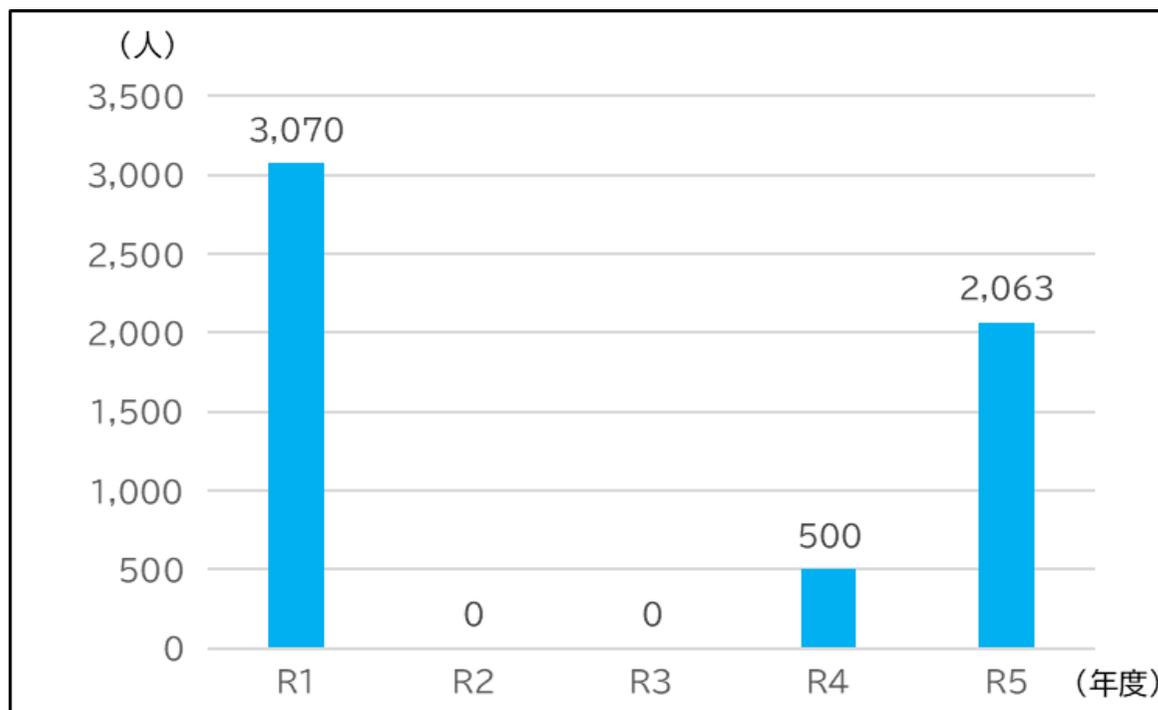
出典:美濃加茂市「市民満足度調査」

政策 6 生涯学習・文化・スポーツ

解決を図る現在の状況

市民のスポーツ大会の参加者数は、令和元年度は 3,071 人でしたが、令和5年度は 2,063 人となっており、新型コロナウイルス感染症の拡大前の参加者数に達していない状態であり、団体種目も減少しています。

市民大会参加者数の推移



出典:美濃加茂市

解決を図る現在の状況

ICT 環境が整備されつつあるものの、教職員が授業に ICT を活用して指導する能力は 78.2%と全国平均 80.4%を下回っており、その活用方法や校務のデジタル化推進は、十分な状態ではありません。

教職員が ICT を活用して指導する割合

		(年度)	R1	R2	R3	R4	R5
教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	美濃加茂市	88.2%	84.0%	88.7%	91.0%	86.4%	
	全国	87.6%	86.3%	87.5%	88.5%	89.6%	
授業にICTを活用して指導する能力	美濃加茂市	70.8%	67.3%	77.0%	82.3%	78.2%	
	全国	69.8%	70.2%	75.3%	78.1%	80.4%	
児童生徒のICT活用を指導する能力	美濃加茂市	76.7%	72.5%	78.6%	84.3%	80.3%	
	全国	73.1%	72.9%	77.3%	79.6%	81.6%	
情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	美濃加茂市	90.4%	88.7%	90.8%	91.7%	90.9%	
	全国	81.8%	83.3%	86.0%	86.9%	88.1%	

出典:文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

政策 7 学校教育

解決を図る現在の状況

社会環境の変化により体を動かす機会が減少しており、また、一定の体力基準を満たす児童生徒の割合は減少傾向(令和元年度:中学生 77.9%、小学生 65.6% 令和5年度:中学生 71.1%、小学生 49.2%)にあり、体力に関する課題が確認されています。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査における総合評価C以上の児童生徒の割合

(年度)			R1	R2	R3	R4	R5
小学5年	美濃加茂市	男女	65.6%		48.1%	59.1%	49.2%
	岐阜県	男	68.4%		61.0%	60.2%	63.2%
	全国		68.8%		63.9%	63.1%	64.3%
	岐阜県	女	76.3%		71.9%	70.7%	70.9%
	全国		76.3%		72.4%	71.1%	70.8%
中学2年	美濃加茂市	男女	77.9%		74.3%	72.9%	71.1%
	岐阜県	男	71.4%		68.7%	67.8%	68.0%
	全国		69.3%		66.9%	66.0%	66.8%
	岐阜県	女	89.9%		85.8%	83.3%	82.2%
	全国		88.1%		84.4%	81.6%	80.6%

出典：文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

解決を図る現在の状況	いじめ事案が確認され、また、令和2年度に2.19%だった不登校児童生徒の出現率は令和5年度には3.44%と上昇傾向にあることから、日常的な相談体制の充実、だれもが安心して学べる環境の整備、迅速に対応できる組織体制の強化等が必要です。
------------	--

不登校児童生徒の出現率

(年度)	R1	R2	R3	R4	R5
美濃加茂市	2.19%	1.85%	2.62%	3.48%	3.44%
岐阜県(公立)	1.88%	2.15%	2.78%	3.41%	—
全国(公立)	1.90%	2.08%	2.61%	3.21%	

出典:文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対する調査」

政策 7 学校教育

解決を図る現在の状況	特別な支援を必要とする児童生徒の割合(令和元年度 3.28%から令和 5 年度は 4.39%)や外国人児童生徒の割合(令和元年度 8.77%から令和 5 年度 11.33%)は増加傾向にあり、学習環境の整備や教職員の専門性向上が必要です。				
特別支援教育在籍児童生徒占有率					
(年度)	R1	R2	R3	R4	R5
美濃加茂市	3.28%	3.76%	3.92%	4.29%	4.39%
岐阜県(公立)	2.65%	2.97%	3.21%	3.55%	3.88%
全国(公立)	3.00%	3.29%	3.57%	3.91%	4.18%
外国人児童生徒占有率					
(年度)	R1	R2	R3	R4	R5
美濃加茂市	8.77%	10.18%	10.49%	10.54%	11.33%
岐阜県(公立)	1.81%	1.98%	2.05%	2.14%	2.32%
全国(公立)	0.98%	1.07%	1.13%	1.18%	1.31%

出典:文部科学省「学校基本調査」

政策 7 学校教育

解決を図る現在の状況

10年前から100人以上の児童生徒が増え、教室等が手狭となり、適切な学習環境を確保することが難しくなっている学校があります。

古井小	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	過去10年間の増減 (R5-H26)
総児童数	575人	605人	619人	663人	698人	705人	753人	757人	780人	784人	+209人
学級数【A】	22学級	23学級	24学級	25学級	25学級	27学級	29学級	31学級	31学級	31学級	+9学級
所有教室数【B】	26教室	26教室	26教室	28教室	28教室	28教室	32教室	32教室	35教室	35教室	+9教室
余裕教室数【B-A】	4教室	3教室	2教室	3教室	3教室	1教室	3教室	1教室	4教室	4教室	±0教室
教室改修の実施	-	-	-	有(+2教室)	-	-	有(+4教室)	-	有(+3教室)	-	改修工事3回実施

加茂野小	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	過去10年間の増減 (R5-H26)
総児童数	668人	639人	652人	670人	695人	729人	723人	736人	738人	733人	+65人
学級数【A】	22学級	22学級	23学級	25学級	25学級	28学級	27学級	28学級	28学級	30学級	+8学級
所有教室数【B】	29教室	29教室	29教室	31教室	31教室	31教室	31教室	31教室	31教室	31教室	+2教室
余裕教室数【B-A】	7教室	7教室	6教室	6教室	6教室	3教室	4教室	3教室	3教室	1教室	-6教室
教室改修の実施	-	-	-	有(+2教室)	-	-	-	-	-	-	改修工事1回実施

西中	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	過去10年間の増減 (R5-H26)
総生徒数	747人	709人	717人	741人	750人	732人	743人	738人	767人	768人	+21人
学級数【A】	22学級	23学級	22学級	23学級	23学級	24学級	26学級	26学級	29学級	27学級	+5学級
所有教室数【B】	26教室	26教室	26教室	26教室	26教室	28教室	29教室	29教室	29教室	29教室	+3教室
余裕教室数【B-A】	4教室	3教室	4教室	3教室	3教室	4教室	3教室	3教室	0教室	2教室	-2教室
教室改修の実施	-	-	-	-	-	有(+2教室)	有(+1教室)	-	-	-	改修工事2回実施

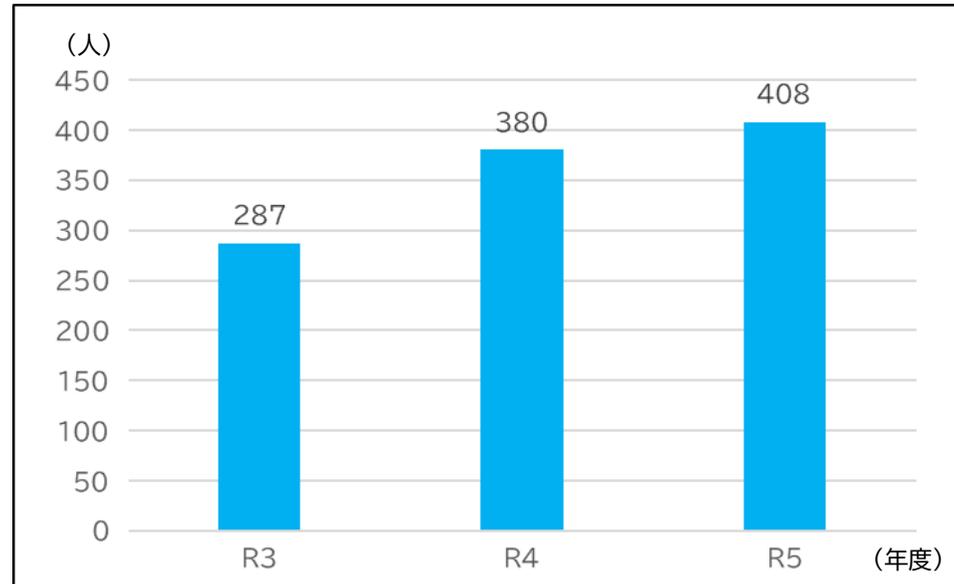
東中	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	過去10年間の増減 (R5-H26)
総生徒数	748人	753人	789人	808人	794人	788人	799人	833人	849人	881人	+133人
学級数【A】	25学級	24学級	26学級	26学級	25学級	25学級	25学級	27学級	30学級	33学級	+8学級
所有教室数【B】	28教室	28教室	28教室	28教室	28教室	28教室	28教室	28教室	30教室	36教室	+8教室
余裕教室数【B-A】	3教室	4教室	2教室	2教室	3教室	3教室	3教室	1教室	0教室	3教室	±0教室
教室改修の実施	-	-	-	-	-	-	-	-	有(+2教室)	有(+6教室)	改修工事2回実施

出典:美濃加茂市

解決を図る現在の状況

給食センターは設備の老朽化が進み、食物アレルギーの配慮・管理が必要な児童生徒は令和3年度の287人から令和5年度は408人となっており、増加するニーズへの対応が難しくなっています。

食物アレルギーを有する児童生徒の状況調査

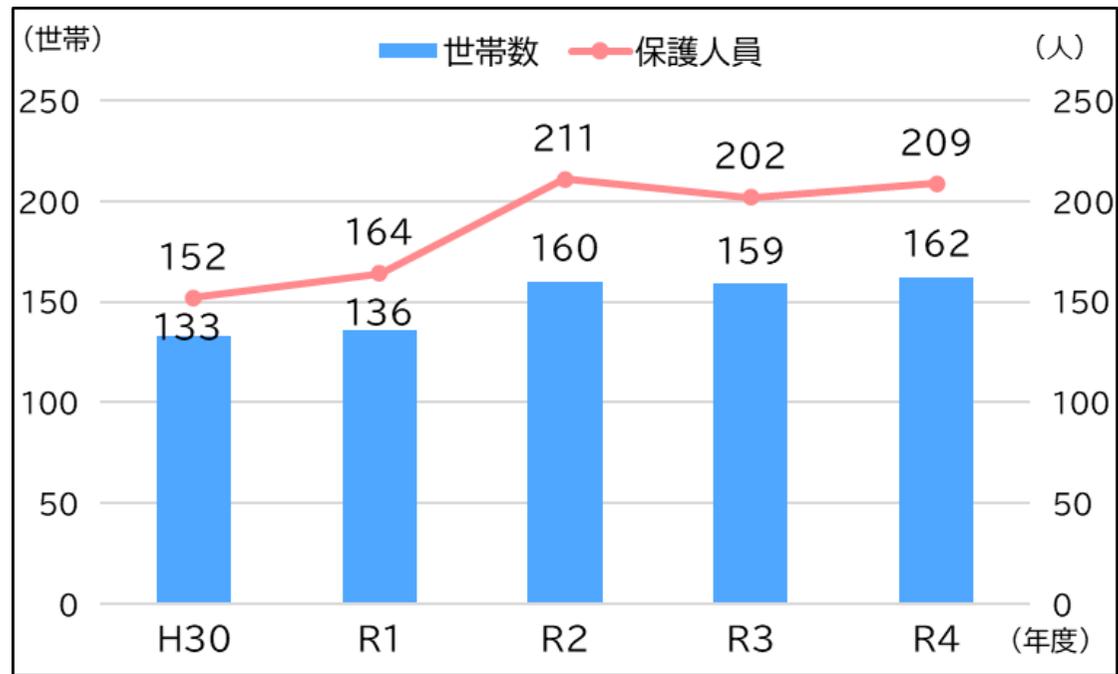


出典:可茂教育事務所「食物アレルギーを有する児童生徒の状況調査」美濃加茂市調べ

解決を図る現在の状況

令和4年度の生活保護世帯は162件と平成30年度の133件から増加しており、生活困窮者への対策の重要性が増しています。

生活保護の受給世帯と保護人員の推移

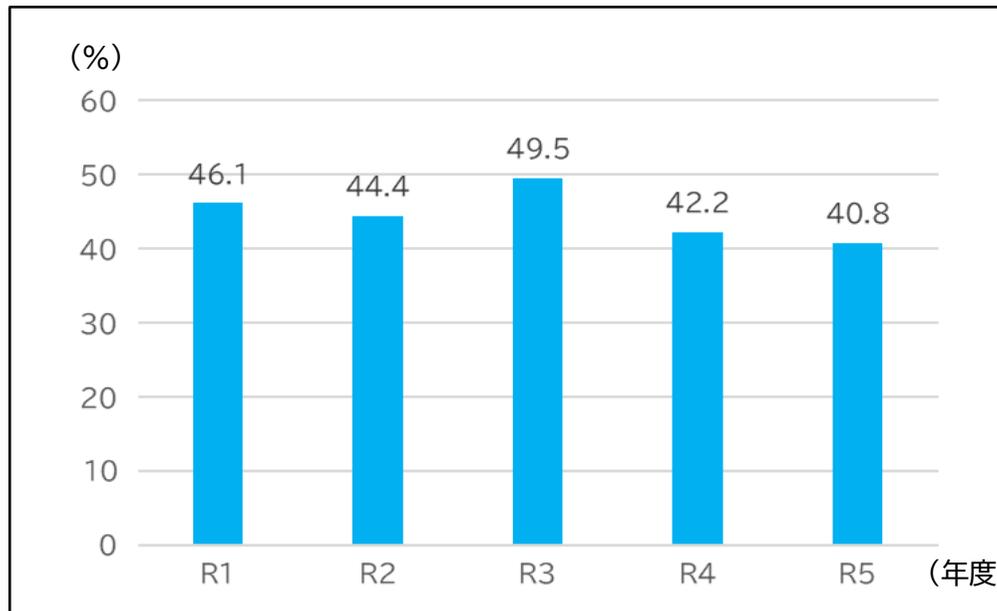


出典:美濃加茂市

解決を図る現在の状況

児童扶養手当一部支給停止適用除外事由届を提出した人の割合は令和 5 年度に 40.8%となっており、児童扶養手当受給者の多くが長期受給者となっています。

児童扶養手当一部支給停止適用除外事由届を提出した人の割合の推移

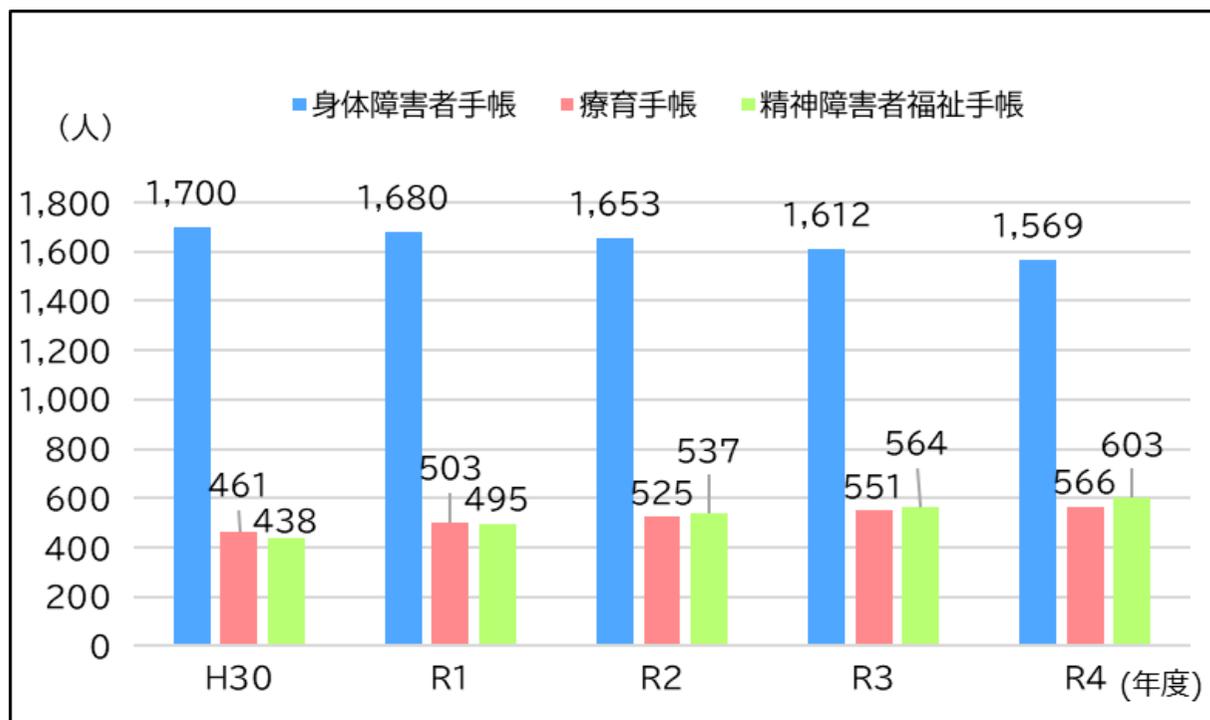


出典：厚生労働省「福祉行政報告例」

解決を図る現在の状況

令和 4 年度の療育手帳の所持者は 566 人(平成 30 年度 461 人)、精神障害者福祉手帳の所持者は 603 人(平成 30 年度 438 人)と増加傾向にあり、必要な支援を提供するための体制を維持していくことが難しくなっています。

各障害者手帳所持者数の推移

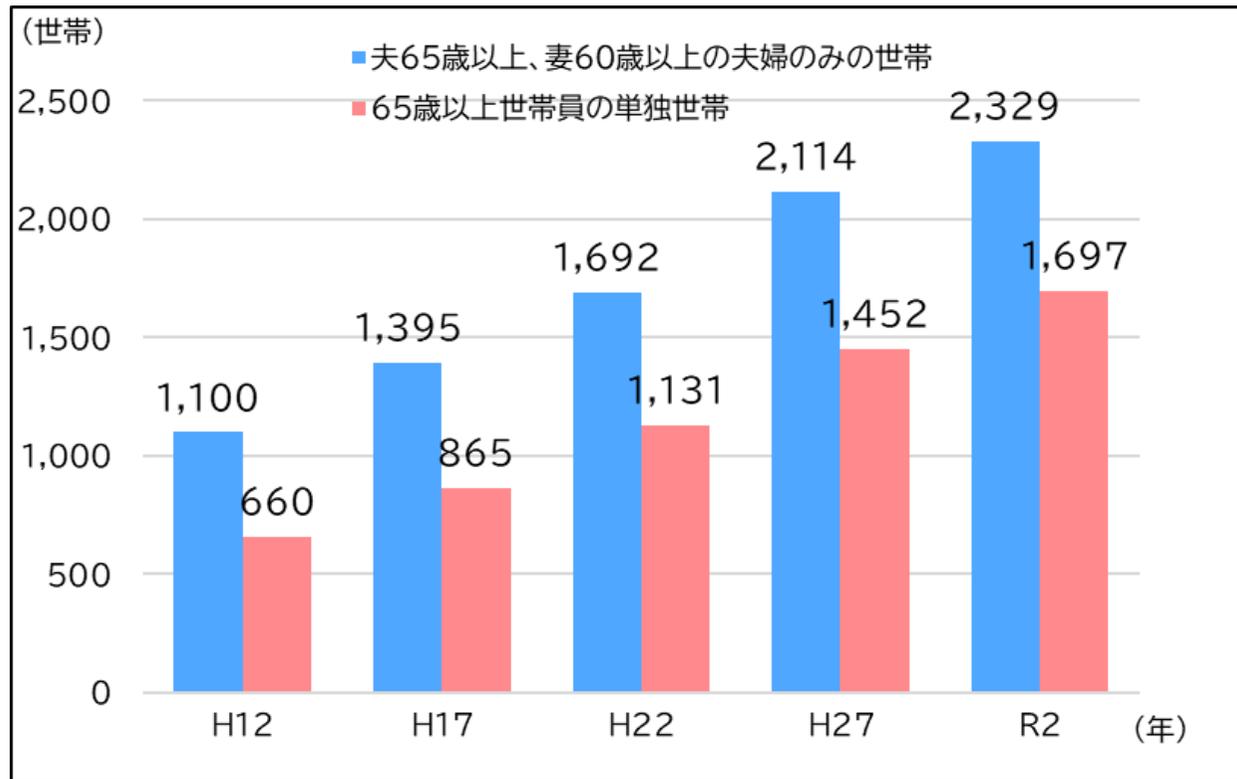


出典:美濃加茂市「統計書」

解決を図る現在の状況

令和2年国勢調査では、高齢夫婦のみ世帯は2,329世帯(平成12年比2.1倍)、高齢単身世帯1,697世帯(平成12年比2.6倍)と増加しており、高齢者の生活支援ニーズが高まっています。

高齢者世帯の推移

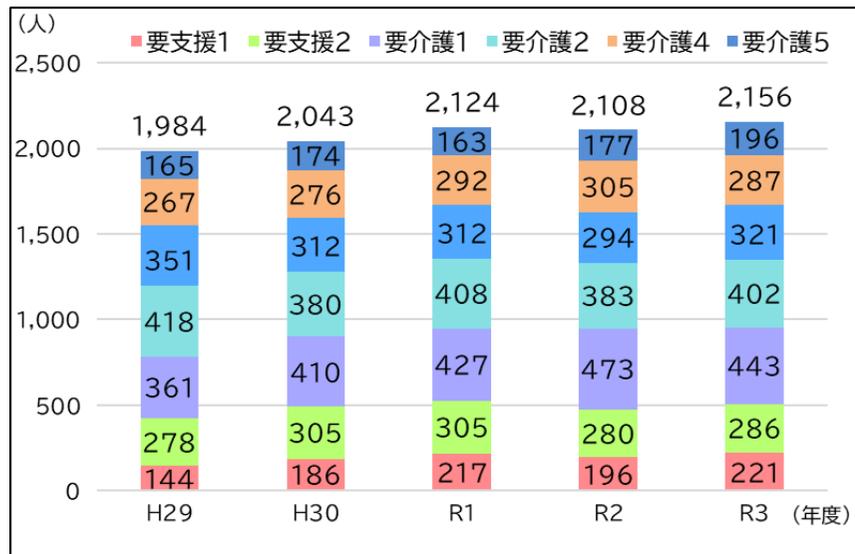


出典:総務省「国勢調査」

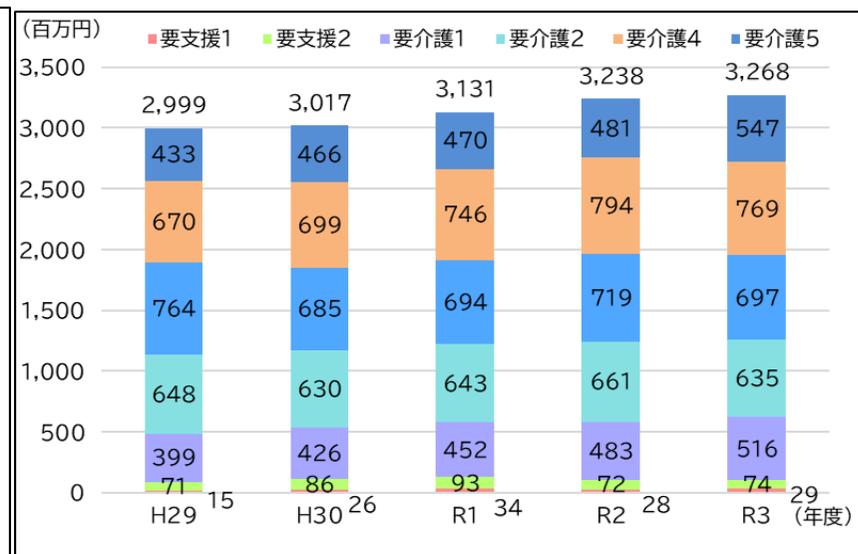
解決を図る現在の状況

令和3年度の要介護・要支援認定者数は2,156人(平成29年度1,984人)、介護保険給付額は3,268百万円(平成29年度2,999百万円)とともに増加しており、今後も介護サービスの需要が高まる見込みです。

要介護・要支援者認定者数の推移



要介護・要支援者認定者数の介護保険給付費の推移

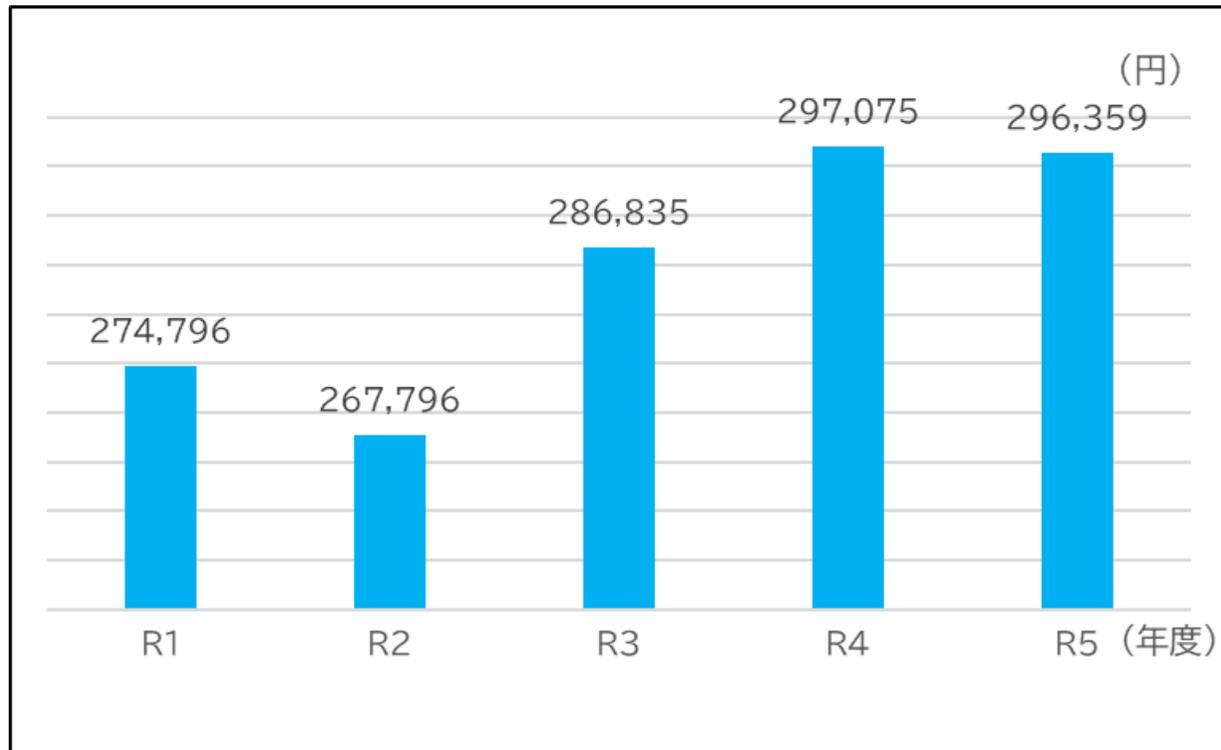


出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

解決を図る現在の状況

令和元年度に 274,796 円だった被保険者 1 人あたりの医療費(国民健康保険)は令和 5 年度には 296,359 円と近年増加傾向にあります。

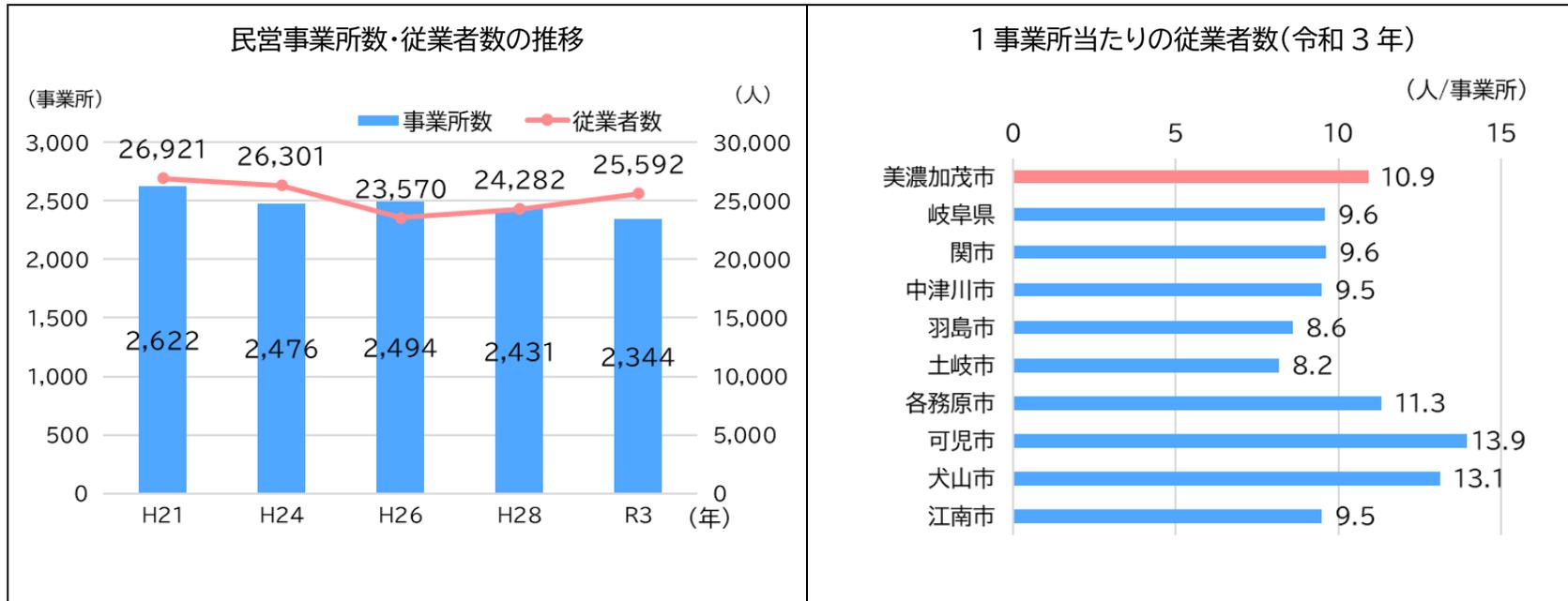
被保険者 1 人あたりの医療費(国民健康保険)



出典:国保データベース(KDB)システム

解決を図る現在の状況

令和3年経済センサスでは、市内の民営事業所数は2,344事業所と平成21年調査から278事業所減少しているため、商工業事業者の労働力と事業承継者の不足が懸念されています。

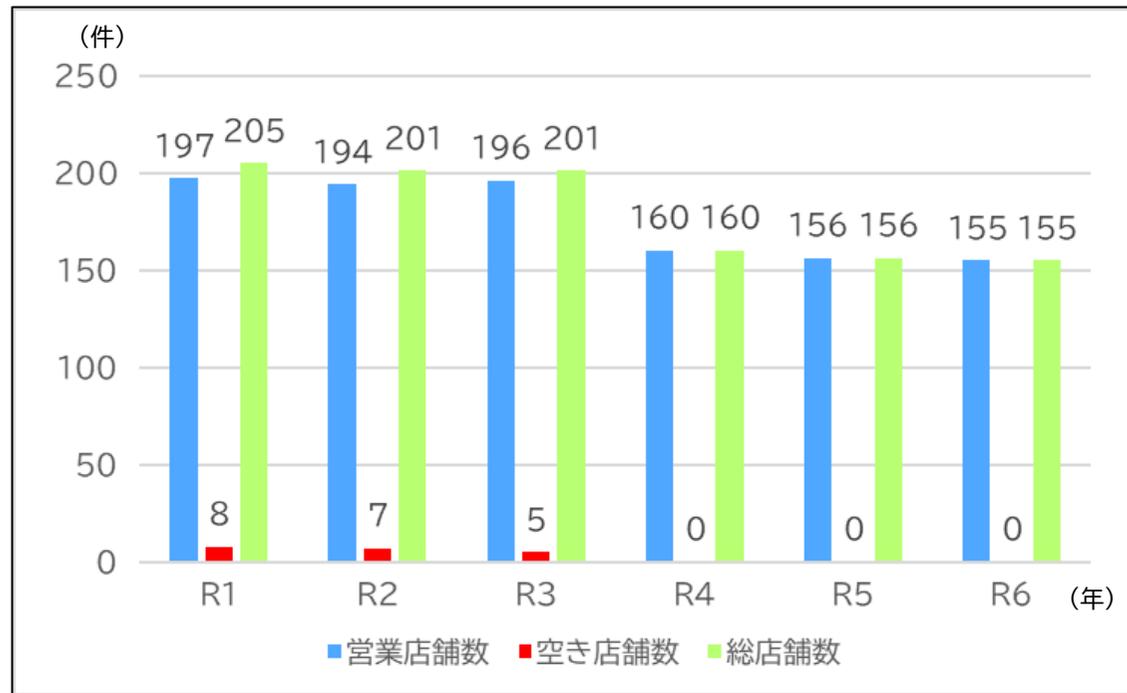


出典:総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

解決を図る現在の状況

美濃太田駅南地区において、事業者の高齢化が進み、令和元年度に197店あった営業店舗数は令和6年度には155店となっており、減少が進んでいます。

商店街空き店舗数



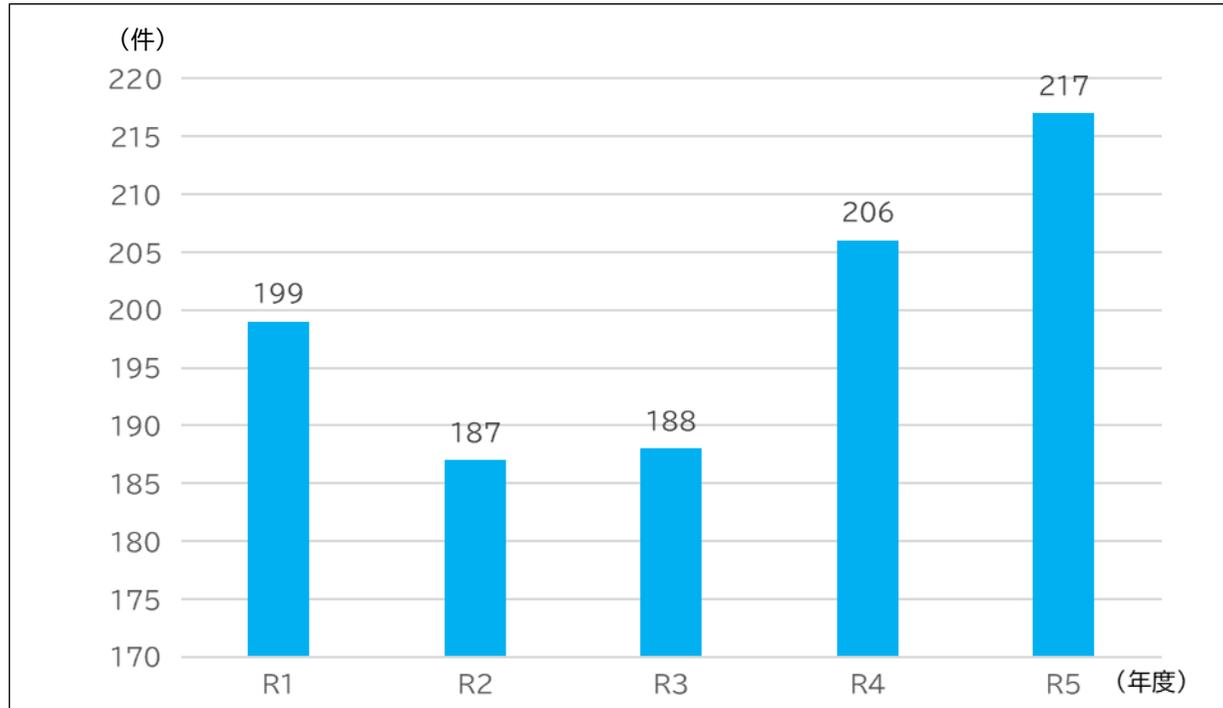
※グラフ内の数値は、毎年6月末時点の数値

出典:美濃加茂市

解決を図る現在の状況

消費形態や犯罪の複雑化が進み、令和元年度に 199 件あった消費生活相談件数は、令和 5 年度には 217 件となっており、消費者被害の増加が懸念されています。

消費生活相談件数

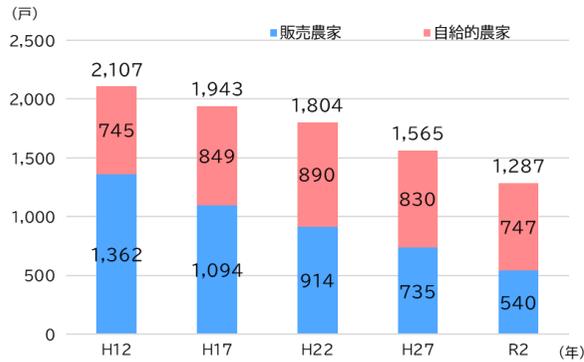


出典:美濃加茂市

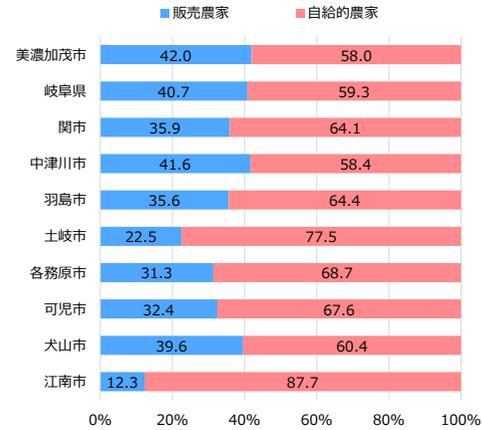
解決を図る現在の状況

令和 2 年農林業センサスでは、農家数が 1,287 戸と減少傾向にあり、特に販売農家数は 540 戸と平成 27 年調査の 735 戸から大きく減少しており、遊休農地が増加し、担い手の確保が難しくなっています。

農家数の推移



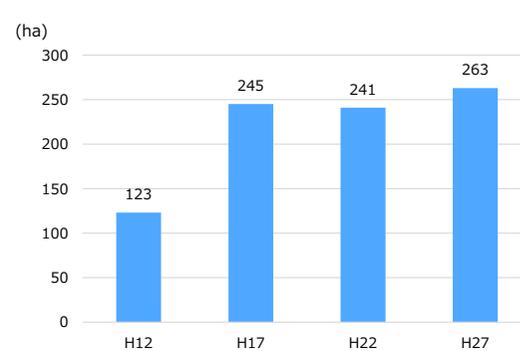
農家数の割合(R2 年)



販売農家の 1 戸あたり経営耕地面積(R2 年)



耕作放棄地面積の推移

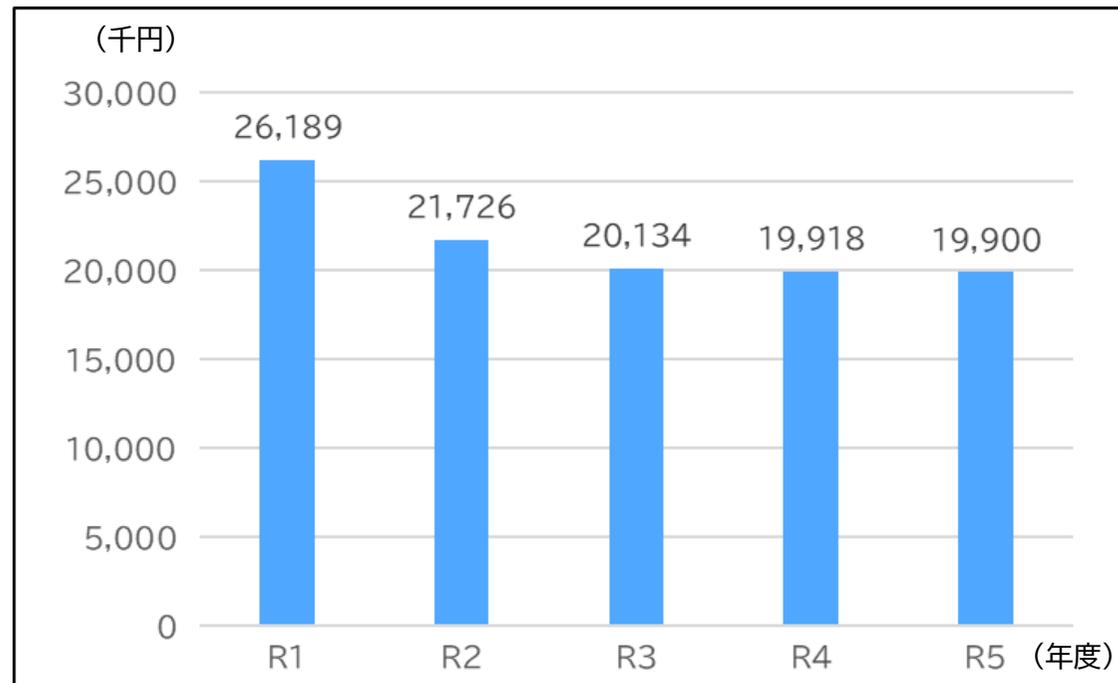


出典：農林水産省「農林業センサス」

解決を図る現在の状況

令和5年度の有害鳥獣被害額は年間で19,900千円にのぼり、野生動物の生息地拡大と被害が深刻化しています

年度ごとによる農作物の鳥獣による被害額まとめ

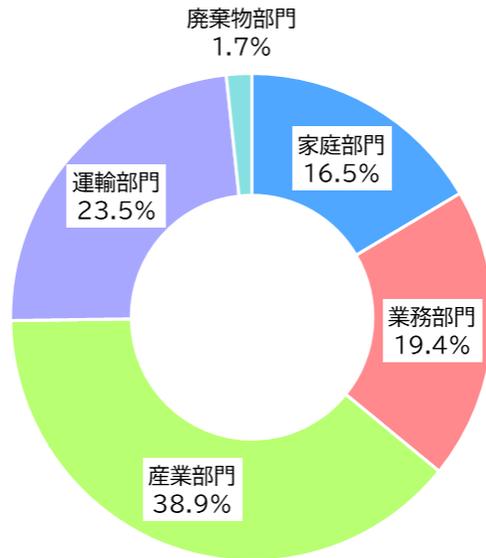


出典:美濃加茂市

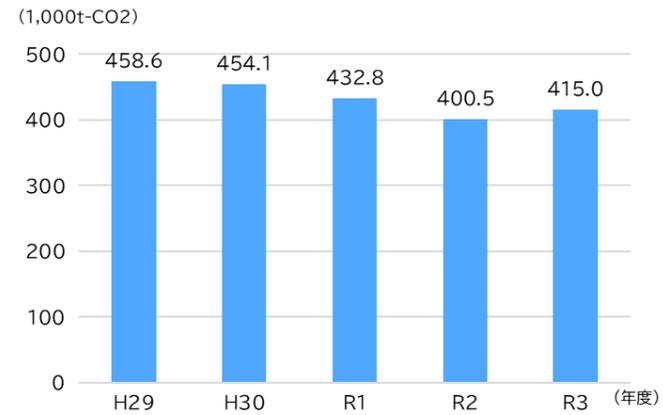
解決を図る現在の状況

令和 3 年度市内の二酸化炭素排出量は、415.0 千t-CO<sub>2</sub> と、平成 29 年度から 43.6 千t-CO<sub>2</sub> 減少していますが、再生可能エネルギーの活用と省エネルギーの推進が不足しています。

部門別二酸化炭素排出量(R3 年度)



二酸化炭素排出量の推移

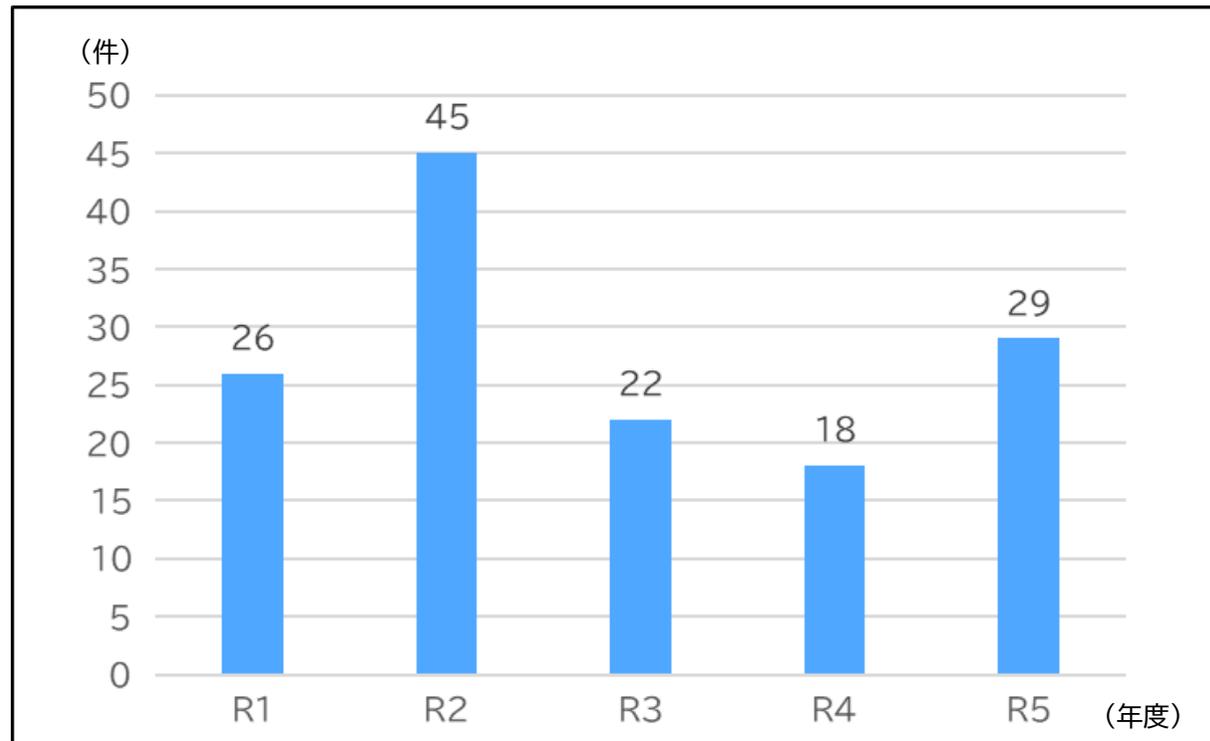


出典:環境省「部門別 CO<sub>2</sub> 排出量の現況推計」

解決を図る現在の状況

野焼きが慣習的に行われており、例外的な農業行為においても苦情やトラブルが発生し、苦情処理件数が令和 4 年度は 18 件となっています。

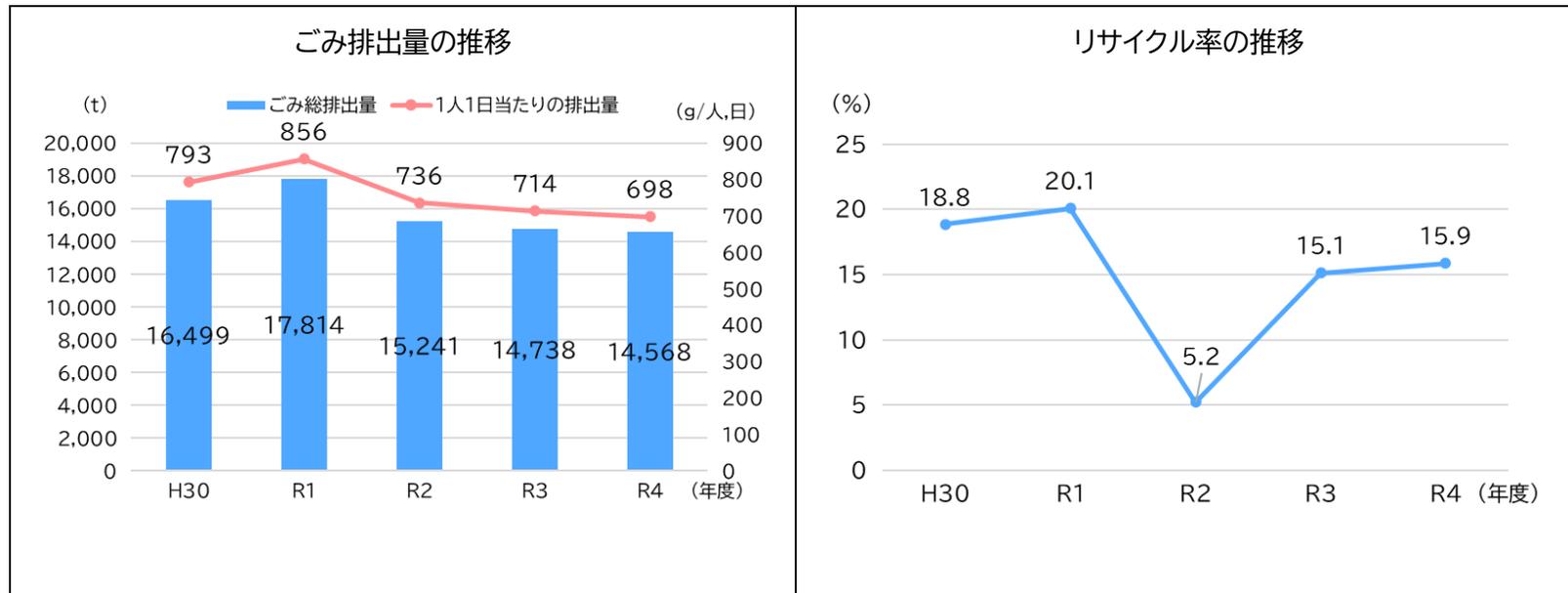
野焼焼却の苦情処理件数の推移



出典:美濃加茂市「美濃加茂市環境白書」

解決を図る現在の状況

ごみ減量・資源化について、市民の行動変容は進んでいますが、不適切な事例が一定数発生しています。

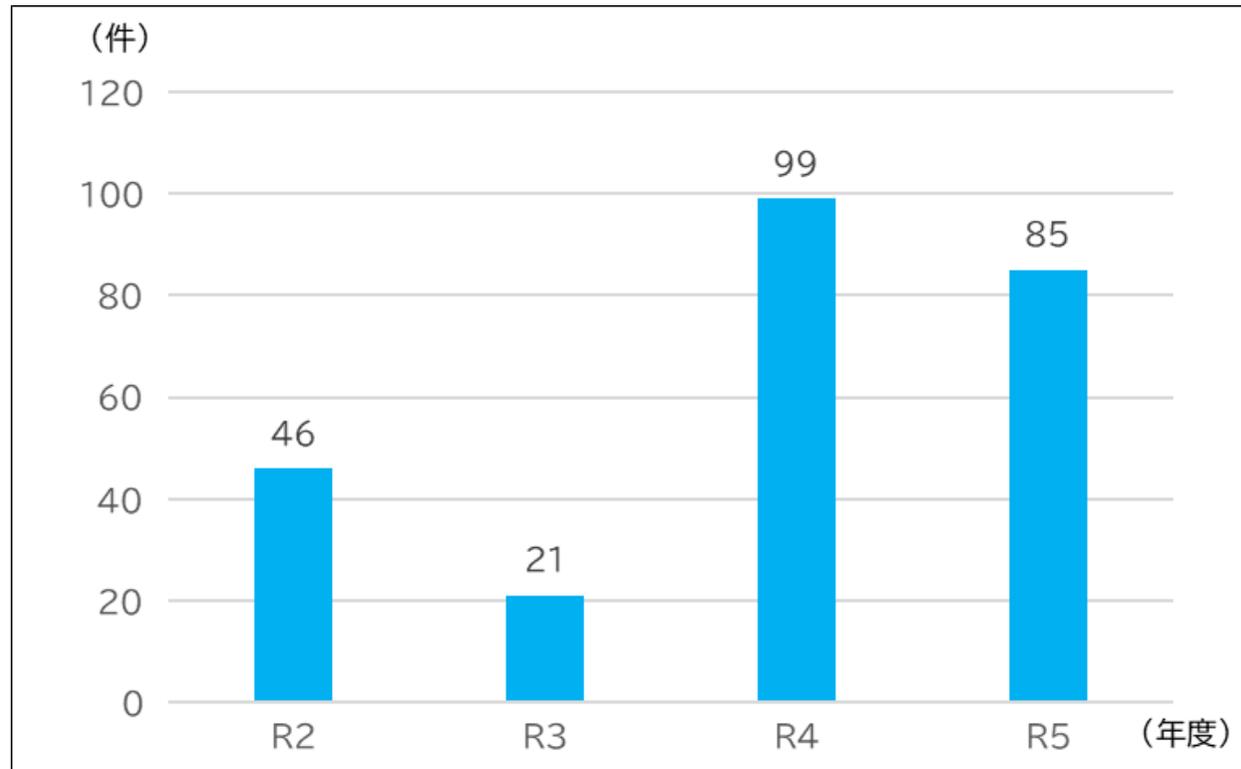


出典:環境省「一般廃棄物処理実態調査 都道府県別データ ごみ処理状況」

解決を図る現在の状況

ごみの出し方のルールが市民に徹底されておらず、ごみ集積所に関する問い合わせ件数は令和 5 年度に 85 件となっており、自治会によるごみの集積所管理が課題となっています。

ごみ集積所に関する問い合わせ件数の推移



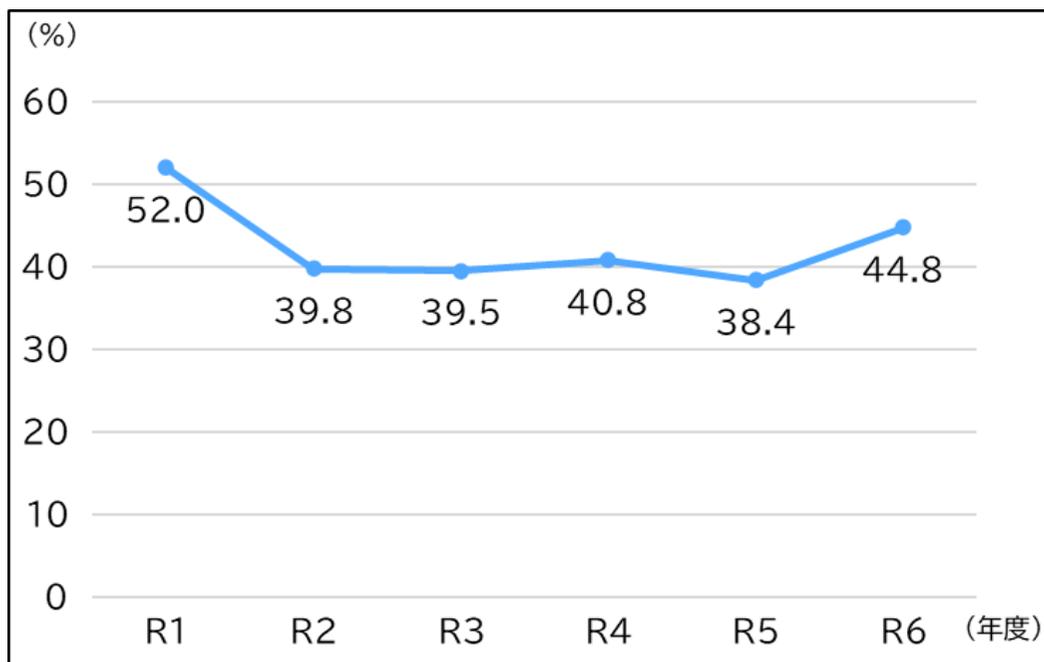
出典:美濃加茂市

政策 11 防災減災

解決を図る現在の状況

防災アプリのダウンロード数や防災ラジオの配付数は年々増加しているものの、災害のための備えができていない人の割合は過去5年間で40%程度に留まっており、十分な水準に達していません。

災害のための備えができていない人の割合の推移

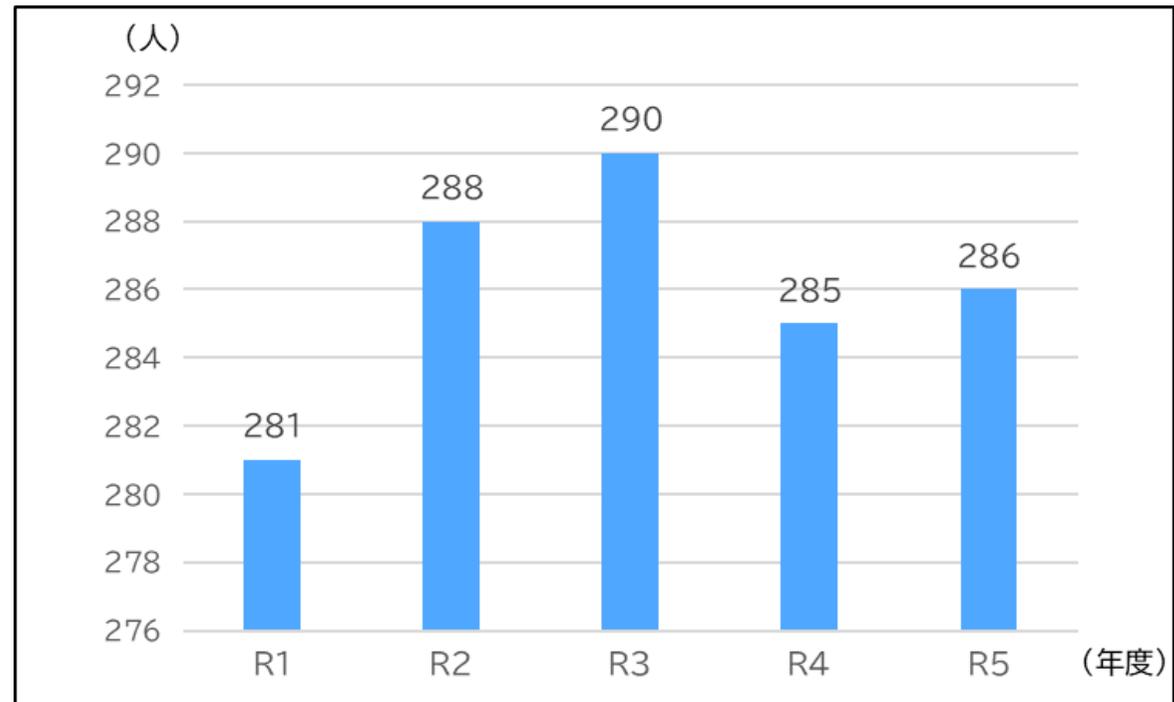


出典:美濃加茂市「美濃加茂市市民満足度調査」

解決を図る現在の状況

消防団員数は定数293人を下回っており、団員の確保が年々難しくなっています。

消防団員数の推移

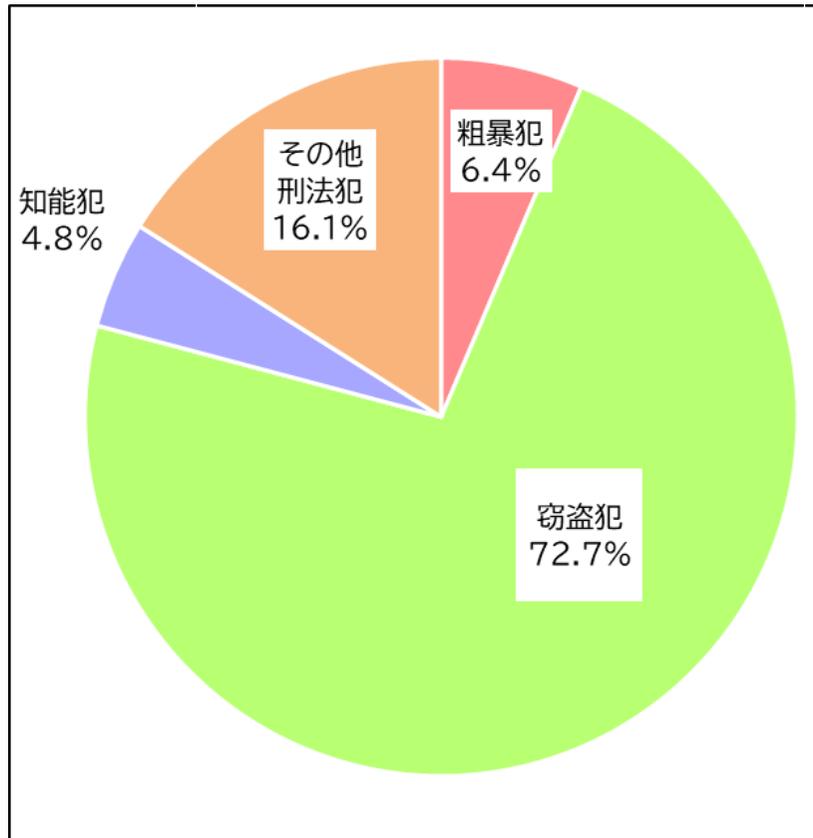


出典:美濃加茂市

解決を図る現在の状況

窃盗犯が犯罪発生件数全体の6割を超えており、重点的な対策が求められています。

罪種別犯罪発生件数(令和5年)

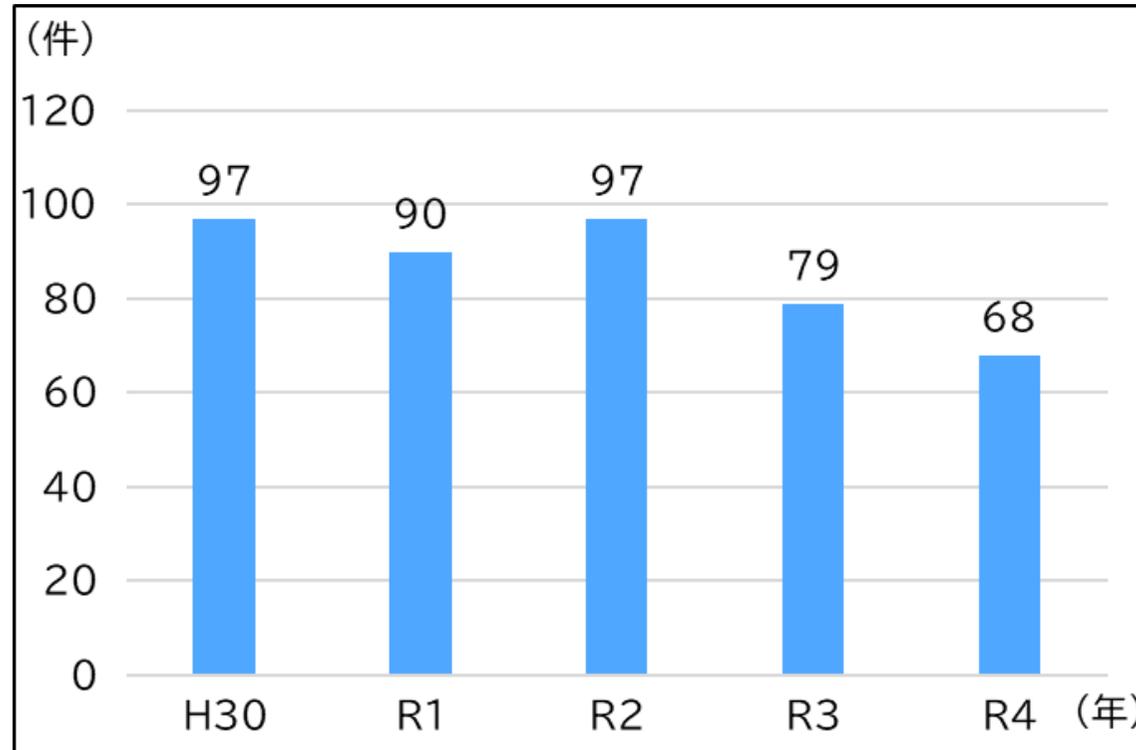


出典:美濃加茂市「美濃加茂市市民満足度調査」

解決を図る現在の状況

令和5年の交通事故(人身事故)発生件数は68件と、令和元年から22件減少しているものの、一定数発生している状況が続いています。

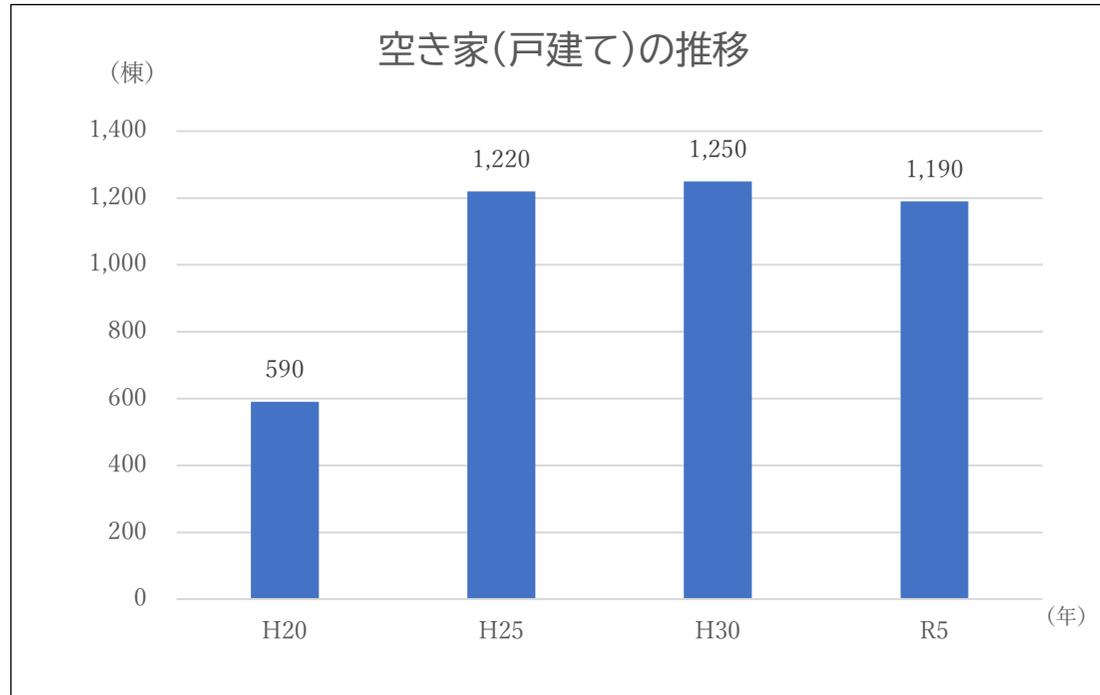
交通事故(人身事故)発生件数の推移



出典：岐阜県「岐阜県統計書」

解決を図る現在の状況

住宅・土地統計調査による空き家(戸建て)は、平成 25 年には 1,220 棟であったものが、令和 5 年には 1,190 棟と状況の改善には至っておらず、生活サービスや地域コミュニティの維持と確保が年々困難になっています。



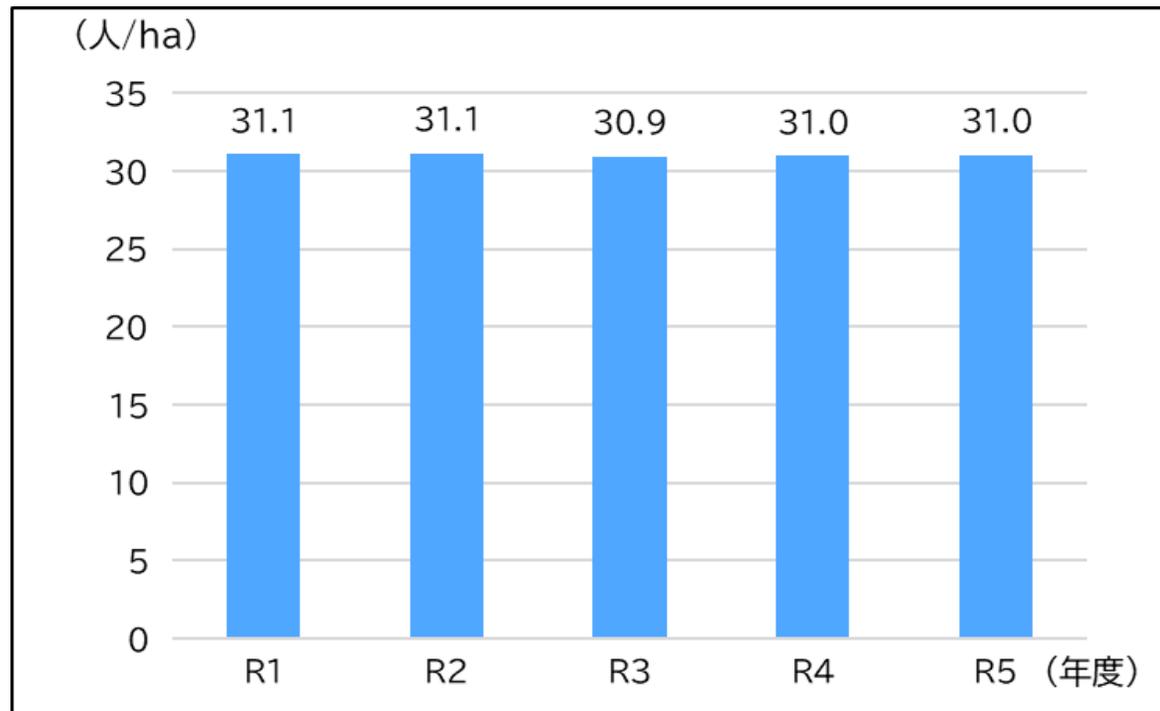
※二次的住宅(別荘等)、賃貸用住宅、売却用住宅を含まない。

出典:総務省「住宅・土地統計調査」

解決を図る現在の状況

令和5年度の居住誘導区域内の人口密度は 31.0 人/ha と過去5年間で変動していませんが、人口減少に伴い将来的には減少することが想定されます。

居住誘導区域内の人口密度の推移



出典:美濃加茂市

政策 12 都市基盤

解決を図る現在の状況		施設に関する苦情対応や管理の改善、令和5年度末の地籍調査事業の進捗率は25%となっており、地籍調査の進捗促進が求められています。					
市町村名	地籍調査事業進捗率	市町村名	地籍調査事業進捗率	市町村名	地籍調査事業進捗率	市町村名	地籍調査事業進捗率
岐阜市	9%	岐南町	0%	瑞穂市	13%	七宗町	2%
大垣市	8%	笠松町	7%	飛騨市	30%	八百津町	23%
高山市	17%	養老町	7%	本巣市	20%	白川町	33%
多治見市	19%	垂井町	18%	郡上市	4%	東白川村	50%
関市	9%	関ヶ原町	4%	下呂市	13%	御嵩町	7%
中津川市	46%	神戸町	18%	海津市	48%	白川村	23%
美濃市	2%	輪之内町	11%				
瑞浪市	33%	安八町	0%				
羽島市	11%	揖斐川町	8%				
恵那市	48%	大野町	9%				
美濃加茂市	25%	池田町	38%				
土岐市	19%	北方町	40%				
各務原市	1%	坂祝町	10%				
可児市	0%	富加町	12%				
山県市	1%	川辺町	7%				

出典:美濃加茂市

政策 12 都市基盤

解決を図る現在の状況	1 時間 20mm以上の雨量を観測した回数(太田地区)が令和元年度の 3 回に対し、令和 5 年度は 8 回となっており、こうした自然災害が増加傾向にあるなか、予防策の迅速な実施と早期復旧体制の維持が難しくなっています。				
1時間20mm以上の時間回数 太田地区(雨量)					
年度・月	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
4	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0
6	0	1	0	1	3
7	1	5	2	2	2
8	0	0	3	1	2
9	0	0	1	2	1
10	2	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0
合計	3	6	6	6	8

出典:美濃加茂市

美濃加茂市第6次総合計画後期基本計画 データ集

発行日

2025年4月

発行者

美濃加茂市

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町 3431 番地 1

TEL:0574-25-2111